

平成26年度 第1回米子市公民館運営審議会

日 時 平成26年11月26日（水）午前10時開会
場 所 米子市役所本庁舎 4階 第402会議室

日 程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 説 明

(1) 公民館における社会教育講座等の実施状況について報告

(2) その他

4 閉 会



平成 26 年度 第 1 回公民館運営審議会 資料

1 公民館の概要について	1
2 公民館事業について	2
3 平成 25 年度 公民館大学一覧	4
4 平成 25 年度 学習講座一覧	34
5 平成 25 年度 体育・文化事業一覧	46
6 平成 25 年度 ひとづくり・まちづくり推進事業一覧	49



公民館の概要について

米子市には、公民館施設として、本館27館と分館2館があります。

公民館は、社会教育法（第5章）で規定された社会教育施設です。

公民館

（目的）

第20条 公民館は、市町村その他一定の区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

（公民館の事業）

第22条 公民館は、第20条の目的達成のために、おおむね、左の事業を行う。但し、この法律及び他の法令によつて禁じられたものは、この限りでない。

- 一 定期講座を開設すること。
- 二 討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。
- 三 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- 四 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- 五 各種の団体、機関等の連絡を図ること。
- 六 その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。

（公民館の運営方針）

第23条 公民館は、次の行為を行つてはならない。

- 一 もつばら営利を目的として事業を行い、特定の営利事務に公民館の名称を利用させその他営利事業を援助すること。
- 二 特定の政党の利害に関する事業を行い、又は公私の選挙に関し、特定の候補者を支持すること。
- 2 市町村の設置する公民館は、特定の宗教を支持し、又は特定の教派、宗派もしくは教団を支援してはならない。

*その他、使用許可等の制限が米子市公民館条例により規定されている。

公民館事業について

第2次米子市総合計画（米子いきいきプラン20.1.1）

「こころ」がいきいき 人を大切にし、豊かな心と文化を育むまちづくりを目指し、事業を展開しています。

【 生涯学習の推進 】

1 多様な学習機会の提供

- ・公民館大学・社会教育講座の開催

各種講座や「公民館大学」を通じて、今日的課題や地域課題に対応した多様な学習

機会を提供することにより、住民の教養を高めるとともに地域社会の発展を図る。

家庭教育講座・人権問題を必須のテーマとして、公民館大学・社会教育講座をあわせて年間14講座以上を実施する。（淀江・宇田川・大和は、3館合わせて28講座以上）

2 学習情報の提供と相談機能の充実

- ・公民館たよりの発行、ホームページの充実
- ・生涯学習に関する相談機能の充実

3 まちづくり活動等の支援

- ・ひとづくり・まちづくり推進事業の支援
環境美化活動、世代間交流事業等

4 施設の整備

地域の学習活動等の拠点施設として、住民が快適に活動できるよう施設整備に努めます。

施設の老朽化等により改修等を求められていますが、緊急性の高いものから整備や改修を行います。

【 生涯スポーツの推進・芸術文化活動の推進 】

・体育・文化行事

幅広い世代が参加できるよう工夫し、生涯スポーツの推進、芸術文化活動の推進に努める。

校区民運動会、公民館祭、各地区スポーツ大会等

【 青少年育成支援 】

- ・子ども地域活動の支援

地域の特色を活かしながら、子どもたちにさまざまな交流や体験活動の場を提供し、大人も子どもも地域の一員としての自覚を高めるとともに、地域で子どもを育てる環境整備を行う。

地域住民とのさまざまな交流活動、体験活動等

公民館の役割とは

公民館は、地域の方が集い学習するための学習活動拠点であり、学習活動をとおして地域づくりの拠点施設といえます。

地域住民が自ら地域の課題を見つけ、解決に向けて活動するための支援を行う。

そのために、

「集い・学び・つなぐ」が重要。

集い・・・・・・学習に関する情報を提供し、学習活動の支援

学び・・・・・・人が集まる場を提供し、学びあう

つなぐ・・・・・・人と人をつなぎ（連携）、地域づくりの拠点

平成25年度 公民館大学一覧



公民館における社会教育講座等の実施状況

※平成25年度

【公民館】

	公民館名	公民館大学			各種講座	
		回数	延べ人数	実人数	回数	延べ人数
1	明道	10	583	96	6	149
2	就将	7	340	65	8	143
3	啓成	10	612	165	4	74
4	義方	8	365	82	8	133
5	住吉	9	404	61	5	80
6	車尾	10	392	103	5	70
7	加茂	10	412	83	4	73
8	河崎	10	489	139	7	104
9	福生東	10	496	92	10	254
10	福生西	10	393	77	5	59
11	福米東	10	552	106	6	152
12	福米西	10	492	92	5	65
13	彦名	10	439	103	4	65
14	崎津	10	527	103	6	80
15	和田	10	321	55	5	135
16	富益	10	458	144	5	127
17	夜見	10	517	115	4	65
18	大篠津	9	221	54	5	64
19	成実	9	540	60	5	65
20	春日	10	318	79	4	56
21	尚徳	8	204	94	6	94
22	五千石	10	365	106	6	93
23	永江	9	264	55	7	109
24	巖	8	316	94	6	79
25	県	8	286	111	6	124
26	大高	9	238	99	8	127
27	淀江				10	521
28	宇田川				11	274
29	大和	10	374	84		
	計	254	10,918	2,517	171	3,434

公民館大学開催回数

平均9回

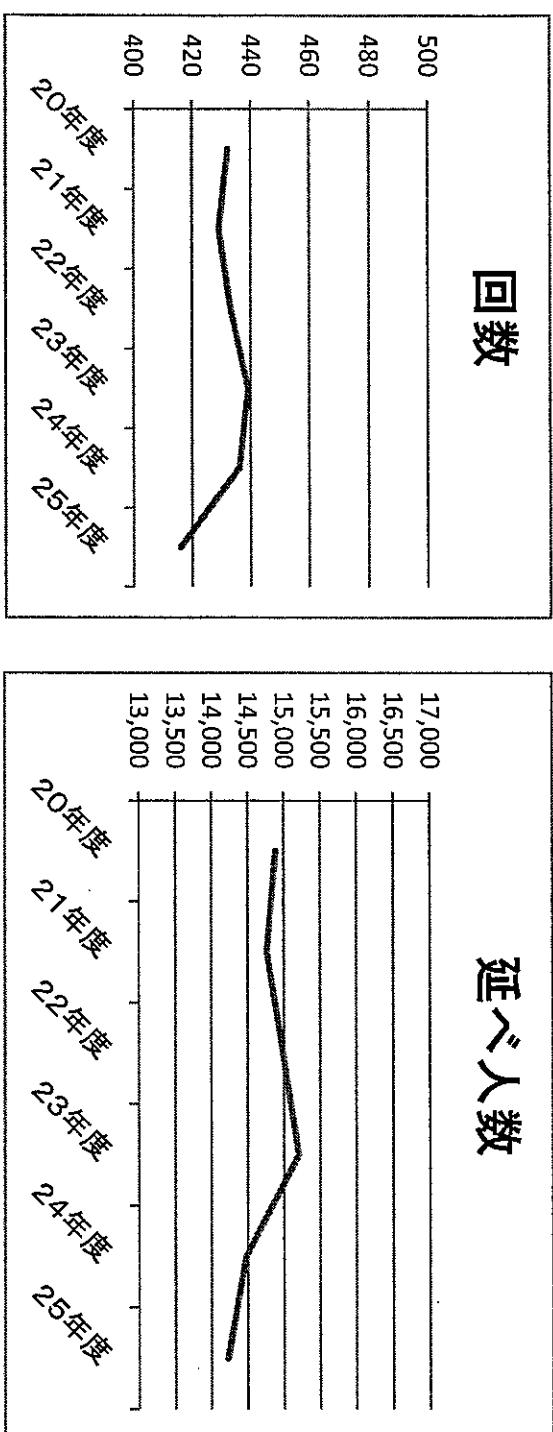
各種学習講座開催回数

平均6回

公民館における社会教育講座等の実施状況 ※平成20年度～25年度

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
回数	246	248	251	254	260	254
延べ人数	10,942	10,941	10,983	11,517	10,931	10,918
公民館大学 実人数	2,521	2,644	2,599	2,602	2,593	2,517
各種講座 回数	186	181	182	185	176	162
各種講座 延べ人数	3,947	3,825	4,007	3,691	3,544	3,304
合計 回数	432	429	433	439	436	416
合計 延べ人数	14,889	14,766	14,990	15,208	14,475	14,222

【合計】



公民館名	明道公民館
------	-------

講座名	明道あすなろ学級
事業のねらい	地域住民が公民館を拠点とした学習活動を通して、心身ともに健康で前向きに生活して、明るく健康なまちづくりを推進できることを目標とし、そのために地域住民の参加したい講座を提供する。
事業成果・課題	<p>【事業成果】 各講座とも受講生の希望に沿って企画したもので、終了時のアンケートでの評価は概ね好評であった。皆勤賞は30名、精勤賞は15名と多く、受講生の意欲が強く感じられた。足腰の悪い人や、乗車定員等の理由により現地学習に参加できない受講生もいるので、現地学習への出席は皆勤賞・精勤賞の表彰対象からはずした。当日の受付・運営等を受講生に協力してもらい、スムーズな運営ができた。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講生が高齢化、固定化しており、団塊世代を含めた新規受講生の参加を呼びかけることが必要である。 毎回受講生が多いので、熱意に応えるべく事務局も情報収集して、魅力ある講座を受講生に責任を持って提供できるように努力しなければならない。

開催日	ジャンル	内容	講師
5月14日	歴史	「国造りに影響を与えた伯耆のたらら」	伯耆国たらら顕彰会 すぎはら みきお
5月28日	現地学習	「南総里見八犬伝発祥の地と福の神めぐり」	くらよし観光・MICE協会
6月14日	環境・健康	「黄砂と大気汚染による健康影響について」	鳥取大学医学部医学科健康政策医学分野助教 大西 一成
7月9日	健康	「高齢者の肺炎予防について」	鳥取大学医学部感染制御部部長 千酌 浩樹
7月30日	教養	「健康な食生活」	米子市健康対策課 管理栄養士 堀部 朝子
9月9日	健康	「認知症予防について」	鳥取大学医学部保険学科 教授 浦上 克哉
9月17日	人権講座	「仏に生きる」	美保学園教誨師・長徳寺 住職 小林 憲充
10月8日	家庭教育	「家庭の和 地域の輪」	米子市児童相談所 所長 山下 賢
11月22日	現地学習	「奥出雲を訪ねて～櫻井家日本庭園と可部屋集成館～」	現地解説員
12月3日	音楽	「みんなでうたいましょうⅡ」	鳥取県西部合唱連合理事長・合唱指導者

公民館名	就将公民館
------	-------

講座名	就将みらい塾
事業のねらい	生涯を通して楽しみながら自分を磨くこと、明るい未来を目指しながら共に学び、共に楽しむことを目的として開催する。
事業成果・課題	今年度は皆勤賞3名、精勤賞16名授与。(前年度は皆勤賞13名、精勤賞18名) 今年から講演のとき、机を置かず椅子だけで対処。受講生の高齢化・固定化が顕著で、若年層の取り組みが問題。内容を検討し、魅力あるものにしていきたい。

開催日	ジャンル	内容	講師
5月30日	歴史	「後醍醐天皇 隠岐配流の道」	樋野 省吾・島谷 修(ことぶき劇団ふたり)
6月25日	家庭教育	「命を輝かせて」～子育てを楽しもう～	福本 真理子 (前米子市立米子養護学校校長)
7月25日	健康	「認知症講座パート1～認知症を理解する～」	西伯病院認知症疾患医療センター長 高田 照男
8月23日	健康	「認知症講座パート2～認知症への対応の仕方」	認知症家族の会鳥取県支部相談員 介護支援専門員 介護師 吉野 靖子
9月9日	救急救命	「覚えてますか？応急手当～大切な命とAED講習～」	米子消防署職員
10月10日	館外学習	「花と緑の祭典 第30回全国都市緑化とつりフェア ほか」	現地解説員
11月26日	人権	「絆をひろげて」～障がい者も社会の中で共に豊かに	フィットネスクラブパジャ米子 健康運動指導士 勇 瑞衣

公民館名	啓成公民館
------	-------

講座名	啓成がくゆう会
事業のねらい	住民が学び合う場、学習の拠点となるよう健康問題、高齢化についてなど幅広く取り入れ、受講生の関心の深い講座を提供し、明るい町・元気な町・みんなのまちづくりを推進する。
事業成果・課題	<p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士が仲良くなり自然と仲間づくりができた。 ・各講座とも概ね好評であったが、特に音楽講座や健康講座は好評であった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイムな問題や住民のニーズに応じた講座、若い年代に参加していただけるような魅力的な講座内容の充実を図り、参加しやすい雰囲気づくりに努めなければならない。 ・幅広い情報の収集。・自主運営組織の育成。

開催日	ジャンル	内容	講師
4月24日	家庭教育	「仏様 何処に…」	本教寺 住職 那須 孝之
5月9日	現地学習	「キリンビアパーク岡山～和気藤公園～いちご狩り」	現地解説員
5月23日	健康	「元気で長生きのための体づくり」	鳥取大学医学部社会医学講座病態運動学准教授 加藤 敏明
6月14日	環境	「地震災害にそなえて」～鳥取の地震と地震災害について～	鳥取大学 名誉教授 西田 良平
7月5日	介護予防	「楽しく笑えば脳活性化」	米子市長寿社会課 作業療法士 小椋 善文
7月24日	人権	「拉致被害者の人権 家族の思い」	松本 孟（拉致被害者家族） 鳥取県総務部人権局 人権・同和対策課 宮田 晴江
9月5日	歴史	「邪馬台国山陰説」	島根県立大学北東アジア地域研究センター市民研究員
9月25日	国際理解	「日本のネイバーロシア」～日本の隣の国ロシア～	とつとり国際ビジネスセンター 相談員 ズイコヴァ・エレーナ
10月17日	現地学習	「陸上自衛隊～大山ハム工場見学」	陸上自衛隊米子駐屯地広報室 田村准尉
12月6日	音楽	「尺ハファンタジー」	都山流尺八楽会 大師範 原田 露山

公民館名	義方公民館
------	-------

講座名	義方成人大学
事業のねらい	地域住民が出会い、共に学び、交流を深める場所の提供。旧知の交流関係に加え、新しい仲間づくりの輪を広げることにより、より一層の学習意欲の向上を目指す。
事業成果・課題	成人大学受講生や公民館教養部員から成る企画運営委員により、アンケート結果をもとに住民のニーズに合う講師や内容を検討してもらい企画したため、概ね好評であった。受講生の高齢化に伴い講座の内容にも固定化された感があるものの、参加率の高い講座はどんどんと/orしていく半面、新しい世代の参加を促す必要がある事を実感した。各種団体等と連携し間接直接的に声かけをして少しでも講座内容の周知と参加のきっかけづくりに努めていこうと思う。

開催日	ジャンル	内容	講師
5月15日	人権講座	「みんなが幸せになるために～私の歩んでいる中から～」	池谷 由美
6月12日	健康	「高齢者のかかりやすい眼の病気」	ふなこし眼科医院 院長 船越 奏作
7月7日	歴史	「鹿島家の和歌世界」	米子工業高等専門学校 准教授 原 豊二
8月5日	家庭教育	「出会いは私の宝物」	中岡 みずえ
9月10日	体験学習	「大山の自然を満喫～山野草を楽しみノルディックウォークに挑戦～」	大山小学校校長 鷺見 寛幸 森の国 田原 晋二
10月24日	現地学習	「熊野大社、島根県立美術館、松江歴史館」	
11月15日	介護	「タオルで体操背すじピーン！」	健康運動指導士 松田 万理
12月4日	音楽	「歌ってリフレッシュパート2」	木村 一也

公民館名	住吉公民館
------	-------

講座名	住吉公民館大学
事業のねらい	受講される地域の皆さんに、健康や音楽など、興味を持ちやすいテーマで身近に生涯学習を感じてほしい。講座を通じて、気軽に学習活動や仲間づくりを楽しみながら教養を高めていただきたい。
事業成果・課題	今年度は皆勤賞10名、精勤賞10名と昨年と比較するとやや受講率が低かったですが、講座終了後のアンケートでは、好評な講座が多くかったです。今年度は健康講座を3回行いましたが、皆さん体や病気に関することは関心も高く、どの講座も受講率よかったです。熱心にメモをとったり、講師の方に質問する姿も多くみられました。閉講式後のアンケートで、館外学習の評判も良く、来年度はもう少し遠出をしたいと書かれている方が多かったので、検討したいと思います。

開催日	ジャンル	内容	講師
4月25日	人権講座	「いじめ問題について考える」	鳥取県前教育長 中永 廣樹
5月31日	現地学習	「鳥取県庁見学」	現地ガイド
6月7日	健康	「運動から始める健康づくり」	Fitness Jaーんぐる 健康運動指導士 松田 万里
7月5日	家庭教育	「心を耕して生きる」	和紙アーティスト 野崎 ふしみ
8月20日	教養	「あなたらしい片づけ方を見つけましょう」	くらしラボ 片づけアドバイザー 谷本 恵美
9月19日	健康	「足から始める介護予防～靴の選び方と足つぼマッサージ～」	根津整形外科 健康運動指導士 松本 晃彦
10月16日	健康	「風邪についての話」	長田産婦人科クリニック 内科医 長田 佳子
11月1日	音楽	「歌でつなぐ心」	鳥取短期大学教授 白石 由美子
11月19日	教養	「腹話術とマジックの共演 ハッピーにしむらとスマイルせつ子のわくわくステージ」	米子マジック同好会 西村 信行 全日本あすなろ腹話術協会 近藤 勢津子

公民館名	車尾公民館
------	-------

講座名	ふれあい学級・くずも
事業のねらい	“健康で心ゆたかな日々とまちづくり”を目標とし、住民の生涯学習の拠点として「集う、学ぶ、つなぐ」が生かされるよう、ともに楽しみながら交流や親睦の場を提供する。
事業成果・課題	今年度も、皆勤・精勤だった方々が、ひとりふたりと健康面の理由から欠席が相次ぎ、全体の受講者数が減少した。しかしその一方で、転居して来られた方や、仕事を退職された方などの新規受講生も増加。もっと早くから、公民館大学の存在を知っていれば良かったとの声もきかれた。公民館の社会教育講座が特定の人だけの集まりにならないよう、広報活動にも工夫を凝らす必要があると感じた。次年度に向けての意見交換会では、すべての講座がマンネリ化している感があるので、企画から運営にいたるまで、新しい試みをしてはどうかという意見が相次いだ。次年度は、今までとは違う講座を取り入れてみたい。

開催日	ジャンル	内容	講師
5月10日	家庭教育	「学ぶことは育つこと～家庭教育の重要性～」	大山町教育委員会 教育長 山根 浩
5月24日	現地学習	「朝鮮通信使が立ち寄った下浦刈町と旧吳鎮守府指令長官官舎見学」	現地ボランティアガイド
6月7日	人権	「いのちを繋ぐ命のリレー～移植医療を通して～」	鳥取県臓器移植コーディネーター 永栄 幸子
6月21日	健康	「鼻のアレルギーについて」	山陰労災病院第二耳鼻咽喉科部長 門脇 敬一
7月19日	救急救命	「AEDをもちいた心肺蘇生法」「消防訓練」	米子市消防署職員
8月23日	国際理解	「元青年海外協力隊からの報告」	元青年海外協力隊員 塚根 健司
9月20日	環境	「地球サイズの自覚」	元大型外航船航海士 大東 五郎
10月25日	現地学習	「国宝を巡る旅・奈良東大寺(大仏殿)と興福寺(阿修羅像)」	
11月14日	健康	「アミノ酸による最新がん検診」	西伯病院 院長 木村 修
11月29日	文化教養	「気軽にMUSIC」	柏木 美千代(音楽講師) 足立 三和(ピアノ講師)

公民館名	加茂公民館
------	-------

講座名	かもめ学級
事業のねらい	「出会い・ふれあい・学びあい」をテーマに充実した学習の場を地区の方々に提供し、明るく安全、安心なまちづくりを目指すことを目標とする。また、講座の参加を通して地区の方々の交流を深めてもらう場とする。
事業成果・課題	アンケートの意見を参考に企画会で計画した講座で、事業目標・ねらいは概ね達成された。声をだして、参加できる音楽講座は大変好評だった。健康講座は、関心が高く、今年度は実際に体操をし体を動かしたので、積極的に参加してもらえた。受講生がなかなか増えないので、参加しやすい講座を検討し、新受講生の開拓に努めたい。受講生の意見を取り入れ、情報収集を広く行い、さらに充実した講座を行いたい。

開催日	ジャンル	内容	講師
4月18日	健康	「正しく選んで、正しく運動～シユーズ選びと運動～」	根津整形外科医院 健康運動指導士 松本 晃彦
5月22日	現地学習	「丸京製菓・食品開発研究所見学」	学級運営部長 奥津 信之
6月12日	家庭教育	「ベストサポーター 子どもたちの未来のために」	境港市教育委員会 大部 由美
6月27日	人権講座	「みんながしあわせになるために～私が歩んでいる中から～」	米子市人権教育推進員 池谷 由美
7月18日	教養	「紙芝居によるまちおこし」	イラストレーター・ニュース漫画家 松村 宏
8月28日	音楽	「童謡をみんなで歌いましょう！！」	よなご童謡の会 代表 古瀬美保子
9月12日	消費生活	「悪質商法・振り込め詐欺にご用心」	米子市市民相談課 職員
10月9日	健康	「楽しく笑えば脳活性」	米子市長寿社会課 作業療法士
11月19日	現地学習	「県議会・知事公邸・砂の美術館見学」	学級運営部長 興津 信之
12月5日	交流会	閉講式 「コーヒーのおいしい淹れ方」 交流会	珈琲工房 喜多川（水 康徳） 学級運営部長 興津 信之

公民館名	河崎公民館
------	-------

講座名	河崎いきいきふるさと塾
事業のねらい	「住むなら河崎 学ぶなら河崎 楽しむなら河崎 みんなでつくろうわがまちを」をスローガンとして共に学び、楽しみながら住民相互間のふれあいを深める。また、生涯学習の場として公民館を身近に感じていただけるよう、位置づけを確立する。
事業成果・課題	住民の学習要求を把握し、積極的に参加していただけるよう関心の高い講座を中心に企画した。全てのニーズに応えられてはいないが、出来るだけたくさん的情報を提供し、各講座とも多数の参加者があつたので、学習意欲の向上につながったのではないかと思う。また、和やかな雰囲気から、地域住民の交流もはかれたのではないかと思う。今後の課題としては、受講生の大半が高齢者なので健康で生きがいを感じられるよう視野を広げ、ニーズにあった情報を提供していかなければならない。また、幅広い世代の方に参加していただき、特に若い世代の方に企画立案から運営まで携わっていただけるよう呼びかけていかなければならぬ。そして、公民館が果たす役割についてもっと認識していただけるよう努めなければならない。

開催日	ジャンル	内容	講師
4月19日	人権	「楽しく生き生きと社会復帰ができるために」～保護観察対象者と共に～	米子保護区保護司会 副会長 矢倉 幸雄
5月14日	防災	「津波・原子力安全対策について」	米子市防災安全課 危機管理室長 大塚 亮
6月19日	現地学習	「西谷遺跡／出雲弥生の森博物館～宍道湖自然観ゴビウス」	出雲弥生の森博物館解説員
7月10日	健康	「お口の中の健康」	グループホームかわさき 歯科衛生士 森本 多美子
8月26日	子育て	「心の笑顔」～心から笑顔になっていますか～	瑠璃光山泉龍寺 住職 三島 道秀
9月19日	教養	「古事記よもやま話」	出雲古代王国研究会 代表 多羅尾 整治
10月10日	健康	「ノロウイルスにかかるないために ノロウイルスをうつさないために」	医療法人真誠会 理事長 小田 貢
11月1日	現地学習	「流しひなの館～智頭宿(石谷家ほか)」	智頭町ボランティアガイド
11月18日	国際理解	「韓国へ行ってみませんか」	米子市国際交流員 李 美英
12月6日	音楽	「お琴であそぼう」	箏葉会椿社中 代表 椿 暢子

公民館名	福生東公民館
------	--------

講座名	ふるさと塾
事業のねらい	日常生活に即した学習機会を提供し、学習効果の効用と個人の幸福、地域社会の活性化を具現化するため、現代的および地域的課題を中心に情報提供する。
事業成果・課題	<p>【事業成果】 各講座とも多分野に富み、関心の高さに合致した講師陣により受講生から好評を得た。特に「薬の飲みあわせとサプリメントの効用」の講座では、日常生活の中で直面している身近な問題と捉えた受講生の関心も深かつた。</p> <p>【課題】 受講生が全体的に高齢化・固定化の傾向があり、関心の高い講座を企画立案し、新しい受講生を増やす工夫が必要と思われる。</p>

開催日	ジャンル	内容	講師
5月14日	歴史	紙芝居による地域おこし	松村 宏
6月4日	文化	光地区の錦絵と神崎神社の彫刻を訪ねて	神崎神社宮司・琴浦町観光協会ガイド
6月25日	健康	「みんなが幸せになるために」～私の歩んでいる中から～	米子市人権政策課 池谷 由美
7月8日	健康	「薬の飲み合わせとサプリメントの効用」	鳥取大学医学部付属病院薬物内科教授 長谷川 純一
9月3日	現地学習	陸上自衛隊の活動と地獄絵の正福寺をたずねて！	正福寺住職 永井 光明 陸上自衛隊広報職員
9月17日	健康	知って納得！人形劇で学ぶ認知症	ふれあいの里地域包括センター 職員
10月1日	歴史	大山の歴史とカラス天狗	普明院住職 藤谷 実道
10月22日	健康	「くう ねる あそぶ」	後藤 弥
11月5日	環境	「新エネルギー導入に向けて」	鳥取環境大学名誉教授 衣川 益弘
11月26日	教養	「今日も笑顔なり～アナウンサーよもやま話し」	山陰放送アナウンサー 桑本 充悦氏

公民館名	福生西公民館
------	--------

講座名	福生西ふれあい学級
事業のねらい	「つどい、ふれあい、まなびあい」を目標に地域住民の生涯学習環境の充実を図る。地域住民が手を携えて心豊かな暮らしができるよう、公民館を交流の拠点とし、活力ある地域づくりを目指す。
事業成果・課題	今年度から毎回の講座終了時にアンケートをお願いし、その結果を反映させるよう試みた。反省点はもとより、企画について参考になる部分も多々あった。次年度もアンケートの内容を改善して継続したい。 高齢者による参加者の減少は、社会的な状況変化のため直ちに改善というのが難しい。ただ、自治会長に地域の集会で参加を呼びかけてもらう、サークル等での来館者に声かけするなど、地道な活動も無駄ではないと思う。今年度の皆勤賞受賞者は昨年と比較して二倍近く増えた。参加者の熱意を利用し、口コミでも受講者が増えるよう協力を要請したい。また、他団体とも連携し、参加者の増加を図るよう努力していきたい。

開催日	ジャンル	内容	講師
4月24日	人権	「拉致被害者の人権・家族の思い」～拉致 私たちは何故、気づかなかつたのか～	松本 孟
5月13日	現地学習	「美作の国から備中の国そして伯耆の国へ」	ことぶき劇団ふたり 梶野 省吾、島谷 修
5月23日	現地学習	「新庄宿から出雲街道をたどる旅」	ことぶき劇団ふたり 梶野 省吾
6月6日	健康	「黄砂と大気汚染による健康影響について」	鳥取大学医学部医学科 健康政策医学分野助教 大西 一成
7月4日	文化教養	朗読を通してよろこび、楽しみ、そして新しい発見～人形劇「いなばの白うさぎ」他～	朗読ボランティア 火曜の会 笹鹿 啓子
8月29日	健康	「老化を科学する」～老化を生き生き乗り越えるために～	(社)日本カイロプラクターズ協会 会長 中塚 祐文
9月25日	救急救命	「おぼえよう！応急手当 救おう！大切な命 AED講習」	米子消防署 皆生出張所職員
10月23日	健康	「楽しく運動！笑って健康！」	米子市長寿社会課 作業療法士 小椋 善文
11月7日	現地学習	「古き良き、瀬戸内の町並み探訪」	
12月5日	交流会	～今年度のふれあい学級を振り返って～	音楽グループ 岩本いづみ

公民館名	福米東公民館
------	--------

講座名	福米東ふれあい学級
事業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい学級実行委員と文化部員が企画し、身近な親しみやすい講座を開講する。 ・受講生相互の出会い・ふれあいを大切にし、共に楽しみながら学習し高めあう。 ・公民館を拠点とした学習活動を通して、活力ある地域づくりを目指す。
事業成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な健康や介護予防は、受講生の関心が高い。 ・古事記編纂1300年に因んだ歴史講座は、昨年は講演で、今年は現地学習と2年連続で好評だった。 ・閉講式に行うアンケートで、「参加して良かった。」「地方の方とも少しずつつながり始めた。」という声が多くあった。 ・兼ねてからの課題だった若い世代の参加を呼び込むために、今年は小学校と共に催で家庭教育講座を小学校体育館で行った。これからも連携しながら幅広い世代に呼びかけていくことが課題である。

開催日	ジャンル	内容	講師
4月17日	教養	「紙芝居によるまちおこし」	ニュース漫画家・イラストレーター 松村 宏
5月14日	介護	「認知症の方とともに～介護の現場から～」	ヒューマンケアももの家 主任 矢崎 タミコ
6月14日	家庭教育	「これから時代と心の教育」	東京学芸大学 教授 永田 繁雄
6月28日	現地学習	「出雲大社とオオクニヌシの国譲り」	古代出雲王国研究会 会長 多羅尾 整治
7月11日	人権	「みんなが幸せになるために」	端応寺 住職 仲倉 玄雄
9月5日	健康	「インフルエンザを予防するための生活習慣」	鳥取大学医学部ウイルス学分野教授 景山 誠二
9月27日	教養	「出会いを大切に」	BSS山陰放送アナウンサー 宇田川 修一
10月15日	国際理解	「ロシアの文化」	鳥取県ロシアビジネスサポートセンター相談員 ジコバ・エレーナ
11月21日	現地学習	「旧閑谷学校と美作オルゴール夢館」	
12月4日	文化芸術	「南京玉すだれ」 閉講式「今年度のふれあい学級を振り返って」	五光倶楽部

公民館名	福米西公民館
------	--------

講座名	福米西ふれあい公民館大学
事業のねらい	住民の学習拠点として「出会い・ふれあい・支えあい」をテーマに、共に学びながら交流を深め、健康で安全な地域づくりを目指す。
事業成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・どの講座も平均的に45～55名の受講生の参加。 ・皆勤賞17名、精勤賞14名(実人数の約1/3が受賞) ・公民館大学の運営について、教養部員の積極的な参加。 ・地区在住の方を講師に招いたことにより、いつも以上に受講生も興味深く、熱心に受講。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性の受講生が全体の1／4くらいにとどまっているので、男性の受講生の増加となるような講座も企画していきたい。 ・出欠名簿により世代交代の感じも受けられる。定年退職者等も視野にいれて企画を考えたい。

開催日	ジャンル	内容	講師
5月9日	環境	「どこまでできる大気汚染対策」	鳥取県水・大気環境課衛生技師 木下 博登
6月17日	現地学習	「新緑の一畑薬師」と「平成の大遷宮・出雲大社」を訪ねて	一畑薬師ガイド
7月18日	教養	「日本語あれこれ」	米子市車尾公民館 前館長 足立 健
8月22日	音楽	「歌でつなぐ心」	鳥取短期大学教授 白石 由美子 鳥取短期大学非常勤講師 稲毛 麻紀
9月19日	健康	「家庭で役立つ とっさの手当て」	鳥取県西部広域行政管理組合消防局 警防課 多田 儒司
10月10日	家庭教育	「騙されないで！振り込め詐欺」	米子警察所生活安全課 鳥取県警部補 横川 徹也
10月23日	現地学習	「秋の奥日野をたずねて」	現地ガイド
11月14日	健康	「もっと知って欲しい肺がんと検診のこと」	鳥取大学医学部胸部外科 教授 中村 廣繁
11月28日	国際理解	「船と水先人」	境水先区水先人会 会長 坂口 恒久
12月12日	人権	「私のシベリア抑留体験」	鳥取県議会 元議長 井上 万吉男

公民館名	彦名公民館
------	-------

講座名	彦名ふれあい大学
事業のねらい	健康で充実した人生を過ごせるよう、地域住民の交流の場を作り、より多くの人が参加できるように促す。今年度は地元の良さを見直そうと地元を拠点に全国的に活躍しておられる石田光輝氏や松村宏氏の講座のほか、弓浜半島の歴史、彦名町の成り立ちなどの講座を設けた。
事業成果・課題	昨年度の企画会議での意見をふまえ、弓浜地域を拠点に活躍する講師を多く講座に取り入れた。そのため昨年比較で約1割の受講者の増加があった。今後も地域から発信される情報に注視し、地元にゆかりある講師を発掘して、受講者の要望に応えたい。いっぽうで参加する受講生の年齢層、生活環境とのギャップからか関心の薄い講座もある。そこで、受講生の意向をくみつつも本来の目的から外れることのないよう、講師との事前打ち合わせを十分に重ねて、よりよい講座を企画したい。

開催日	ジャンル	内容	講師
5月8日	教養	「もっと楽しく歌いましょう」	作曲家・歌手 石田 光輝
5月30日	館外学習	「吉備の里・タンチョウの里」	
6月12日	健康	「生活習慣病について」	おかだ内科クリニック 岡田 昭嗣
7月5日	健康	「認知症について」	中海クリニック 理事長 小嶋 達也
7月3日	人権	「見えない世界を見つめるまなざし」	境港市 正福寺 住職 永井 光明
7月23日	家庭教育	「紙芝居による地域おこし」	ニュース漫画家・イラストレーター 松村 宏
8月29日	国際理解	「インド文化体験～笑って歌って健康に～」	インド中央政府公認 ヨガ講師 岡本 美穂
9月19日	健康	「簡単な運動で楽しく健康づくり」	Fitness Jaーんぐる 健康運動指導士
11月13日	歴史	「郷土の歴史」	米子市立山陰歴史館 館長 国田 俊雄
11月26日	館外学習	「工場見学・大山乳業」	ボランティアガイド
12月5日	音楽	「民謡講座」	安来節保存会尾高支部 矢倉 紀子

公民館名	崎津公民館
------	-------

講座名	崎津ワクワクまなび大学
事業のねらい	健康でいきいき、わくわく生活するための情報を提供し、住民の文化の向上、明るいまちづくりを推進する。
事業成果・課題	アンケート結果をもとに班長と講座を企画したためか、どの講座も好評だった。年々男性の参加が増えてきていることも主催者として喜ばしい。今後も受講者の興味ある講座は何か情報を集め、要望に応えられる企画をたてていきたいと思う。

開催日	ジャンル	内容	講師
4月26日	健康	「めまいについて」	鳥取大学脳神経内科 助教授 滝川 洋史
5月17日	現地学習	「風薫るしまなみ 生口・大三島の散歩」	バスガイド
6月18日	人権	「拉致被害者の人権・家族の思い」	松本 孟（拉致被害者 松本京子さんの兄）
7月1日	教養	「子どもへのバトンタッチ」	鳥取県図書館協会 会長 山田 晋
8月1日	健康	「腰痛について」	山崎整形外科クリニック 院長 山崎 大輔
8月30日	国際理解	「韓国について」	李 美英（米子市国際交流員）
9月20日	文化芸術	「フルートの調べ」	鳥取短期大学 講師 野坂 知子
10月18日	現地学習	「鞆の浦 古い町並みをたずねて」	現地ガイド 他
11月19日	家庭教育	「極楽図に学ぶ」	長徳寺 住職 小林 憲充
12月6日	交流会	閉講式 「ワクワク？まなびましたか？」茶話会	

公民館名	和田公民館
------	-------

講座名	わだつみ塾
事業のねらい	学習活動の拠点として、生活に即する講座を開催し、地区住民の教養の向上、健康の増進を図る。また、講座を通して住民のふれあいを深める。
事業成果・課題	野外学習、健康講座、実技講習については、受講生の関心も高く、積極的な参加がある。 もっと幅広い年齢の方に参加していただけるよう、立案時より受講生の要望を取り入れながら、充実した魅力のある講座を開催したい。また、講座内容、開催時間など検討し、さらに地元の人材を探していきたい。

開催日	ジャンル	内容	講師
5月21日	歴史	「出雲大社よもやま話」	古代出雲王国研究会 代表・作家 多羅尾 整治
6月11日	現地学習	「出雲大社めぐり～大遷宮後の出雲大社参拝・古代出雲歴史博物館＜企画展：平成の大遷宮出雲大社展＞～」	出雲大社 参拝
7月5日	人権	「自分らしく生きる～夫を9年、妻を14年やっています～」	藤村 梨沙
7月18日	家庭教育	「心の笑顔～こころから笑顔になっていますか？」	瑠璃光山泉龍寺 住職 三島 道秀
8月20日	教養	「AEDを使った救急救命」	境港消防署弓ヶ浜出張所 前川 哲夫
9月19日	健康	「おっしつこの話～つまる・もれる・血がまじる～」	介護老人保健施設さかい幸朋苑 施設長 石田 晴玲
10月1日	国際理解	「世界遺産の不思議」	鳥取県図書館協会 会長 山田 晋
11月1日	現地学習	「旧閑谷学校と雪舟が修行した宝福寺他」	
11月13日	健康	「簡単な運動で楽しく健康づくり」	Fitness Ja~んぐる 健康運動指導士 松田 万理
12月11日	音楽	「津軽三味線と山陰民謡」	わくわくどきどきステーション 代表 小泉 和子 三味線奏者 山内 謙一

公民館名	富益公民館
------	-------

講座名	松蔭ふれあい塾
事業のねらい	「出会い・ふれあい」をテーマに、熟成相互のふれ合いを深め、楽しみながら学び合う場を提供する。
事業成果・課題	今年も受講生のアンケートをもとに、文化部長・運営委員と講座計画作成会議を開き、企画しました。地元の講師さんや、今年度限りで聞けない講師さんもあり、塾生の皆さんは興味をもって参加されました。高齢者の参加率が高いので、何歳になっても参加していただけるように、講座の内容、広報の仕方など検討していきたいと思います。

址

開催日	ジャンル	内容	講師
5月15日	教養	「私たちの名字の由来と現状」	元伯耆町八郷小学校長 沢田 昭文
5月28日	教養	「自分らしく生きる」～夫を9年 妻を14年やっています～	藤村 梨沙
6月10日	現地学習	世界遺産・姫路城修理施設「天空の白鷺」と元禄ロマン溢れる赤穂城址見学	
6月25日	環境	「放射能・放射線の話」	人形峠環境技術センター 池田 論志
7月17日	家庭教育	「今、大切にしたいこと」	米子市立明道小学校 教諭 山本 昌子
8月2日	健康	「肩関節の痛みについて」	鳥取大学医学部付属病院 整形外科 助教 榎田 誠
8月21日	国際理解	「ロシアのお話」	国際交流員 ジエルノワヤ ユーリア
9月9日	人権	「パラリンピックの仲間たち」	パラリンピック ライフル射撃監督 長谷川 勝寿
11月15日	現地学習	「忠臣蔵ゆかりお鳳源寺と奥田元宋・小由女美術館を訪ねて」	新日本観光センターガイド
11月22日	教養	「どぶろくで地域づくり」	二部地区活性化推進機構顧問 (株)上代 住田 泰

公民館名	夜見公民館
------	-------

講座名	さわやか人生大学
事業のねらい	町民の一人一人が健康でいきいき暮らし「一生勉強・一生青春」を合言葉に多くの人と「出会い、学びあう」とが出来る場としての機会を提供する。
事業成果・課題	<p>【事業成果】 昨年度と比べ受講生の延べ人数、実人数とも減少した。健康講座が地元開業医の講演かどうかでも、参加人数に変化があるようだ。その他の講座では、魅力的な講師やテーマ設定、また、さまざまな場面での声掛けなどをした結果、比較的大きな人数の減少はみられなかったと思う。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実人数、延べ人数の増加 ・皆さんからの様々な要望をどのように取り入れていくか ・受講生の会場準備を等の協力をどのようにしたらスムーズに出来るか ・企画段階での皆さまの積極的な参加

開催日	ジャンル	内容	講師
5月16日	家庭教育	「そぞろ歩きでだ再発見、地域の魅力	中海テレビ放送キャスター 三浦 健吾
6月7日	健康	「在宅介護について～本人と家族の心構え～」	ひだまりクリニック 在宅医 前田 晃央
6月18日	人権・現地学習	「境港正福寺・由志園・フジッコワーズ(睇見学)」	正福寺 住職 永井 光明
7月4日	歴史	「古事記神話の舞台山陰」	古代出雲王国研究会 代表 多羅雄 整治
8月19日	家庭教育	「子どもの居場所を創る」	米子市立弓ヶ浜中学校 校長 岡崎 茂
9月26日	国際理解	「世界遺産から学ぶ」	鳥取県図書館協会 会長 山田 晋
10月4日	健康	「簡単な運動で楽しく健康つくり2」	健康運動指導士 松田 万里
11月7日	現地学習	「備中国分寺参拝と竹久夢二生家・旧閑谷学校見学の旅」	
11月19日	地域課題	「紙芝居による地域おこし」	漫画家・紙芝居師 松村 宏
12月5日	音楽	「津軽民謡と山陰民謡」	因伯音(インパクト) 小泉 和子・山内 謙一

公民館名	大篠津公民館
------	--------

講座名	おおしのづ成人学級講座
事業のねらい	地域住民の学習意欲に対し、役立つ情報を提供し、共に学ぶ楽しさ、健康で生きがいのある生活、潤いのあるゆたかな人生を送るための出会い、ふれあいの場をつくる。
事業成果・課題	<p>25年度成人式学級は5月17日から12月4日までの9回。皆勤賞はご夫婦での受賞もあり微笑ましかった。</p> <p>【成果】・担当の教育部員には当日の会場準備、受付などの協力を得て、運営にも参加してもらうことが出来た。</p> <p>【課題】・講座の内容によっては、企画段階から時間帯を変更することも必要で今後検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代環境に即したタイムリーな講座をという声があるが、事前の希望など詳しく聞き取りが重要。 ・受講者の増加につながる工夫が求められる。

開催日	ジャンル	内容	講師
5月17日	教養	「シンプル衣類収納のススメ」	くらしラボ代表 谷本 恵美(インテリアコーディネーター・整理収納アドバイザー)
6月5日	家庭教育	「オープンマインドとコミュニケーション」	大部 由美 (境港市教育委員会)
6月28日	健康	「高血圧と生活環境」	山陰労災病院循環器科 医師 太田原 顕
7月19日	人権	「絆をひろげて」～障害者も社会の中で 共に豊かに～	Ma o代表 松下 弘美
8月23日	国際理解	「カナダの文化とアイデンティティー・國家と國民の思想について」	アレクサンダー・ギンナン(鳥取県国際交流員)
9月20日	歴史	「邪馬台国山陰説」～古代日本の中心 は山陰地方だった～	山陰古代史研究会 代表 田中 文也
9月30日	野外学習	水と緑の祭典「第30回全国都市緑化 とつりフェアー」	現地学習
11月15日	介護	「在宅介護について」～本人と家族の 心構え～	ひだまりクリニック 医師 福田 幹久
12月4日	音楽	「人生という名の歌の玉手箱」～思い出 は歌とともに～	木村 紀子 (コーラスユニットSION)

公民館名	成実公民館
------	-------

講座名	成実ふれあい大学
事業のねらい	仲間とのつながりを求める多くの人々を対象として、家庭教育・健康・教養・人権・芸術・校外学習等幅広い分野の講座を開設し、地域住民の教養を高め、健康増進に寄与することを目標とする。
事業成果・課題	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講生は高齢者が主体である。低い年齢層の参加が増えるのが望ましい。 ・男性が極端に少ない。幅広い年齢層の方々にも参加していただけるような企画案がさらに重要だと考える。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講生として、その内容を同好会やいきいきサロン等に生かそうとする参加者がみうけられた。その時だけでなく、受講後に広がりを見せる講座は好ましく、来年度も期待したい。 ・バスに乗って出かける講座はどちらも楽しい雰囲気で、交流や研修、思い出づくりに貢献できたという実感が持てた。

開催日	ジャンル	内容	講師
5月14日	家庭教育	「いきいきと暮らす」	山陰放送アナウンサー 宇田川 修一
5月30日	介護予防	「足から始める介護予防」	根津整形外科医院 健康運動指導士 松本 晃彦
6月20日	郊外学習	パナソニックエコテクノロジーセンター 「兵庫企業見学」エルビレッジ発電所	現地解説員
7月2日	教養	「紙芝居によるまちおこし」	イラストレーター・ニュース漫画家 松村 宏
7月18日	健康	「おしつこの話」～つまる・もれる・血がにじむ～	米子医療センター泌尿器科医師 高橋 千寛
9月10日	人権	「拉致被害者の人権・家族の思い」	政府認定拉致被害者 松本 京子さん兄
10月4日	郊外学習	大人の社会見学 「下蚊屋ダム見学」 蒜山高原散策	現地解説員
11月19日	音楽	「津軽民謡と山陰民謡」	わくわくどきどきステーション 山内 謙一・小泉 和子
12月3日	健康	「脳卒中について知ってごしない」	さくま内科・脳神経内科クリニック医師 佐久間 研司

公民館名	春日公民館
------	-------

講座名	春日ふるさとセミナー
事業のねらい	地域の課題・特性や住民のニーズに応じたさまざまな学習機会を提供することで、学習意欲の高揚と潜在的学習者の発掘を図り、住民の教養を高めるとともに、心豊かに暮らせる地域社会づくりを図る。
事業成果・課題	<p>【成果】</p> <p>・学習内容については、社会情勢に即し、また受講者のニーズに応え多岐にわたっており、大好評であった。 ・地元在住で活躍されている方に講師になっていただき、新たな講師の掘り起しができたと</p> <p>【課題】</p> <p>幅広い年齢層、幅広い地域からの新たな受講生の拡大を図るために、いろいろな方法で参加の呼びかけを図る。 セミナーの実施時期や時間帯を考える。 自主運営組織づくり。 受講者が学習成果を活かす場づくり。</p>

開催日	ジャンル	内容	講師
5月7日	家庭教育	「中学生をとりまく環境と生活実態」	箕蚊屋中学校 校長 松本 修一
6月14日	救急救命	「AEDと(自動体外式除細動器)と救急救命法」	米子市消防団女性分団員
6月20日	現地学習	「航空自衛隊美保基地 エコマ商事見学」	
7月10日	健康	「元気で輝いて生きよう～心も身体もりフレッシュ～」	元高校体育教師 青山 典代
8月2日	人権	「どん底からの挑戦」	里山 元気塾 塾長 小谷 博徳
9月4日	教養	「季刊詩 さんいんキラリ」	さんいんキラリ編集長 奥田 英範
10月2日	国際理解	「私たちの北方領土」	鳥取県青年団OB 大下 修一
10月25日	健康	「介護保険と地域包括支援センター」	長寿社会課 富田係長 箕蚊屋地域包括支援センター 主任介護支援専門員 本池 淳子 社会福祉士 瀬戸 彩花
11月13日	歴史	「春日の歴史」	米子市文化財保護審議委員 畠中 弘
12月3日	教養	「クリスマス フルートコンサート」	島根大学教育学部講師 野坂 知子 ピアノ講師 植田 昌子

公民館名	尚徳公民館
------	-------

講座名	尚徳ふれあい講座
事業のねらい	～健康で明るいふるさとづくりをめざして～ ・地域住民の出会いの場となり、ともに学ぶ楽しさふれあう喜びを感じながら心豊かな自己表現を目指す。 ・地域住民の生活向上に役立つ情報を提供し、安心・安全な地域づくりに取り組む
事業成果・課題	【事業成果】・今年度は、受講希望者で公民館までの移動手段がない方がおられ、教養文化部の役員で送迎を行った。老若男女、健常者、障害者、多くの方が集まる公民館の第一歩となつたと思う。 ・健康講座では最近テレビ、新聞などでもご活躍の鳥取医大の大西先生に講演していただき、公民館に初めてこられるような方にも受講していただいた。こういうことが継続的な受講のきっかけになるかもしれない ので、講演料などの問題はあるだろうが、名前の売れた方の講演も入れていく必要がある。 【課題】・受講者中にはバスで来るという方もおられた。役員の人数が限られる中、送迎も人数が増えると難しい。尚徳地区は範囲が広いので、車のない方にいかにして公民館に来ていただくかが課題である。

開催日	ジャンル	内容	講師
6月18日	教養	「絵本の力・言葉の力 パートⅡ」	米子市立尚徳小学校 校長 倉光 信一郎
6月26日	現地学習	「鳥取県衛星環境研究所と大山乳業見学」	遠藤 晴美
7月18日	介護	「寸劇で学ぶ認知症－認知症サポーター養成講座－」	なんぶ幸朋苑認知症キャラバンメイト
8月22日	家庭教育	「さくら保育園に勤めさせていただい て」	鷺見 道子(前米子市さくら保育園園長)
8月31日	現地学習	「鳴門のうずしお見学と阿波の国『徳島』の旅」	現地解説員
9月6日	健康	「黄砂と大気汚染による健康影響につ いて」	鳥取大学医学部医学科健康政策医学分野 助教 大西 一成
10月10日	人権	「世の中逆さがおもしろい」	里山元気塾 塾長 小谷 博徳
10月23日	現地学習	「旧閑谷学校・竹久夢二生家見学とミカ ン狩りの旅」	樋口 洋

公民館名	五千石公民館
------	--------

講座名	公民館大学「まなびや会」
事業のねらい	日常生活に即した学習機会の提供と、地域住民の出会い・交流の場の提供を目的として公民館大学「まなびや会」を開設する。
事業成果・課題	公民館大学運営委員会の7名のメンバーの手により企画・立案・当日の会場準備・講師との打ち合わせや進行等を行っている。企画は、受講生の意見を取り入れながら開催しているが、受講生が高齢化、固定化してきており、新規受講生の開拓が重要である。 今年度は人権講座を遺族会に協力してもらい夏休みに計画した。小学生にも広報した結果、数人ではあるが小学生の先生、児童の参加もあった。 来年度も講座の開催時期、広報の仕方を考え、年間を通じては参加してもらえない人たちに、興味のある講座だけでも参加してもらえるようにしていきたい。そして、参加した方が参加して良かった、楽しかったと思ってもらえる魅力ある講座内容、参加しやすい雰囲気作りをしていかなければならない。

開催日	ジャンル	内容	講師
5月10日	現地学習	開講式 「善通寺・中津万象園・丸亀美術館・平家物語歴史館・いちご狩り」	現地ガイド
6月7日	環境	「鳥取県の大気環境」～PM2.5や放射能調査の状況について～	鳥取県衛生環境研究所 大気・地球環境室 室長 大呂 忠司
6月24日	人権講座	「見えない世界を見つめるまなざし」	正福寺 住職 永井 光明
7月5日	歴史	「邪馬台国山陰説」～古代日本の中心は山陰だった～	島根県立北東アジア地域研究センター 市民研究員 田中 文也
7月19日	介護予防	「健康な体づくりのお話と体操」	健康運動指導士 生田 景子
8月2日	家庭教育	「身近な戦災を通して大切な命と支えあった思いやりの心を学ぶ」	大山口列車空襲被災者の会 伊藤 清
9月6日	教養	「いきいき生きる」	鳥取短期大学 学長 山田 修平
10月11日	防災	「あなたならどうする？災害時の行動を考える」	日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦
11月7日	現地学習	「生野銀山、余部鉄橋、出石城下町散策」	現地ガイド
12月6日	音楽	「和太鼓と三味線で奏でる心の歌」	八二三(はづみ) 池永 満(和太鼓)幡瀧 ゆみ(三味線)

公民館名	永江公民館
------	-------

講座名	ながえ青雲大学
事業のねらい	地域住民の多様な学習欲求や、地域課題の理解・解決に役立つ講座を開催し、学習欲求の向上と住民間の交流により、よりよい地域づくりを促進する。
事業成果・課題	<p>今年度は、健康面、環境面から日々の生活の中で感じる身近な問題点テーマにした講座が多く、授業終了後も青雲大学の話題が多くでいるのを聞くことが出来、主催者としては達成感がある。</p> <p>例年のことながら、参加者が高齢化し同じ顔ぶれであることと等の問題点も残る。来年度は大学の開催時間の見直し、また若い世代、子育て世代が関心を持つような講座を企画することで、日ごろ公民館に出入りしない人が活動のきっかけになるような講座としていきたい。</p> <p>講座の動員数増加を進めながら、地域の生涯学習の向上を目指すことが、将来的に地域のつながりに結びついていくのではないか。各団体との連携も重視した事業展開も進めていく予定である。</p>

開催日	ジャンル	内容	講師
4月17日	郊外学習	「島根原子力館・フォーゲルパーク バスに乗って春紀行」	
6月5日	健康	「目について」	松井眼科医院 院長 松井 博美
7月2日	家庭教育	「尚徳の子どもたちと接して」	なかよし学級指導員 山根 すみ子
7月30日	環境	「えひめA1を作ろう」	環境政策課
8月29日	健康	「足から始める健康づくり」	尚徳地域包括支援センター 松本 晃彦
9月3日	人権	「いのちを繋ぐ命のリレー～移植医療について」	鳥取県臓器移植コーディネーター 永栄 幸子
10月7日	郊外学習	「ともに育てる身近な緑」	
11月8日	音楽	「コントラバスとヴィオラによるコンサート」	コントラヴァス奏者 神庭 智子 ヴィオラ奏者 生田 幸太
1月20日	交流会	閉講式 & 表彰式 & 茶話会 「スライドショーで一年間を振り返って」	

公民館名	巣公民館
------	------

講座名	公民館大学「いわお塾」
事業のねらい	魅力ある地域社会を構築し、生涯が学習を通じて心豊かに生きるために、ともに学び、共に語り合うふれあいの場として開講する。
事業成果・課題	今年度からは午後に開講。参加人数は昨年度までとほぼかわらないように思われる。受講生が全体的に高齢化・固定化している傾向にあるので、より幅広い年齢層に参加してもらえるよう魅力ある企画を考案していきたい。

開催日	ジャンル	内容	講師
4月23日	家庭教育	「世の中逆さが面白い」	里山元気塾塾長 小谷 博徳
6月7日	音楽	「歌って元気・歌って健康！」	元車尾小学校校長 松井 智子
7月16日	人権	「佛にいきる」	法務局人権擁護委員 小林 憲充
8月29日	教養	「そぞろ歩きで再発見・地域の魅力」	中海テレビ放送アナウンサー 三浦 健吾
9月20日	健康	「脚・腰丈夫に、元気で長生き」	チアエクササイズインストラクター 瀬尾 久美子
10月22日	現地学習	「鳥取砂丘の美術館・全国都市緑化とつとりフェア」	
11月28日	介護	「呆けても大丈夫」	ヒューマンケア・モモの家 矢崎 夕美子
12月3日	交流	茶話会 &ミニ講演会、閉講式	館長 塚田 安雄

公民館名	県公民館
------	------

講座名	あがたカレッジ
事業のねらい	・地域住民のニーズに対応した講座、学習の機会を提供する。 ・楽しさや喜びを体験して、地域住民同士の新しい出会い、親睦を深める人間関係づくり
事業成果・課題	受講者の方から一年をとおして良かったと感想をいただき、企画する側も喜びを感じる。反省会を行い、次年度への意見・要望を取り入れた計画をたてていたが、住民の方にもっと参加していただけるような企画会を開催し計画していきたい。 受講生が固定化してきているので、新規の方に参加いただけるよう受講生の要望に応えられる、楽しくて魅力ある講座を開催していきたい。

開催日	ジャンル	内容	講師
5月15日	人権	「ユニバーサルデザインとは？」	鳥取県総務部人権局人権・同和対策課 石田 重幸
6月28日	野外学習	「奥出雲～たらのふる里を訪ねて～」 (櫻井家 可部屋集成館 金屋子神社)	教養部長 清水 照志
7月26日	歴史	「絵地図で歩こうあがたのめぐり～石垣・中福万・河岡コース～」	山陰歴史館運営委員 岩佐 武彦 よなごの宝88選実行委員会 杉谷 愛象
8月6日	家庭教育	「コミュニケーションで笑顔を増やそう」	高校教諭・夏梅自治会 森田 雅彦
9月5日	介護	「足から始める介護予防」	根津整形外科医院 健康運動指導士 松本 晃彦
10月3日	健康	「薬の飲み合わせトサプリメントについて」	鳥取大学医学部付属病院 薬物療法内科 長谷川 純一
11月15日	歴史	「邪馬台国山陰説～古代日本の中心は山陰地方だった～」	山陰古代史研究会代表 田中 文也
12月10日	国際理解	「アメリカの旅」	日下自治会 仲田 祐康

公民館名	大高公民館
------	-------

講座名	大高成人セミナー
事業のねらい	住民のニーズに応えながら、地域課題の理解・解決に役立つ内容や時代の流れに沿った新しい情報を提供し、学習意欲の向上と生涯学習の意識を促す。 公民館を交流およびまなびの拠点とし、集い学ぶ機会を提供し、活力ある地域づくりを目指す。
事業成果・課題	延べ人数、実人数とも例年に比べて激減した。受講者の顔触れもあまり変わらず、新規受講者の獲得が今後の課題である。紙面での告知だけでなく、来館者に直接声をかけて参加を促すなど、今後も続けたい。 必須の家庭教育講座は、他の講座に比べるとやはり受講者が少ない。主な参加者層が子育てを離れたシニア世代なので、やはり関心が高くないようだ。来年度以降は開催日や内容をより吟味し、現役子育て世代の参加を増やす工夫が必要である。今後も地域や社会全体の問題・課題に目を向け、より実りある学びの場を提供していきたい。

開催日	ジャンル	内容	講師
5月13日	人権	「ハンセン病を正しく理解する～加賀田さんから学んだこと～」	元 長島と鳥取を結ぶ会代表 荒井 玲子
5月30日	野外学習	「島根大学＆メテオプラザ」	
6月14日	健康	「おいしく食べ続けるために～口腔ケアの底力～」	高場 由紀美
7月9日	健康	「足から始める介護予防～足つぼマッサージ～」	根津整形外科医院 健康運動指導士 松本 晃彦
8月20日	平和	「語り継ぐ戦争～大山口空襲～」	大山口列車空襲被災者の会 代表 山林 紀代美
9月12日	家庭教育	「子育てのヒントを見つけよう～台湾文化と子育て～」	鳥取県国際交流財団国際交流コーディネーター 羅房 媛美
10月18日	教養	「紙芝居による地域おこし」	ニュース漫画家・紙芝居作家 松村 宏
10月15日	野外学習	「鳥取県砂丘砂の美術館～砂で世界旅行・東南アジア編～」	
11月29日	教養	「カリンバの音色に親しむ」	カリンバ奏者 佐賀 優一

公民館名	淀江公民館 大和分館
------	------------

講座名	大和ふれあい大学
事業のねらい	地域住民の一人一人が健康で心豊かに暮らせるために、「仲間とともに楽しく、生きがいづくり、健康づくりをしよう」基に時事に則した講座を開催することによって、地区住民が集い学ぶ場を提供し、住民の教養を高める。併せて、地区住民ふれあいの場、仲間づくりの場として開講する。
事業成果・課題	<p>【事業成果】</p> <p>企画、講師との打ち合わせ、受講生への案内チラシの配布、当日の会場設営、受付まで運営委員14名が関わることによって、受講生も運営委員も講座を身近に感じる事が出来ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度に向けてのアンケート集計をすることによって受講生のニーズの把握がし易く、次年度の企画に活かすことが出来る。 <p>【事業課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講生の高齢化・固定化で参加者が減少し、出席率も低くなっている。受講生の新規開拓や出席率も低くなっている。受講生の新規開拓や出席率を上げるために魅力のあるテーマを取り入れた講座を企画し、内容の充実を図りたい。開催曜日、時間帯も今後検討していきたい。 ・幅広い年齢層に興味を持って頂けるよう広報の方法も検討。

開催日	ジャンル	内容	講師
4月26日	家庭教育	「親子で学べる環境問題」	西部総合事務所環境・循環推進員課職員 岡田 達郎
4月26日	音楽	「口びるに歌を、心に元気を！」	淀江公民館 館長 國頭 徹夫
5月10日	野外学習	「立杭焼窯元見学と永沢寺ボタン園・三田花のじゅうたん散歩」	
6月6日	健康	「薬の飲み方について」～生活習慣病と薬～	淀江調剤薬局 薬剤師 松本 格
7月31日	世代間交流	「みんなで遊ぼう ～いただきづくりと川遊び～」	大和子ども活動実行委員・大和ふれあい大学運営委員 森山 直樹(中間神社 宮司)
9月20日	教養	「消費者啓発講座・風呂敷の活用～包み方・結び方」	NPO法人 鳥取県消費者協会 理事長 安本 仁子
10月22日	国際理解	「どじょうすくいマジック」～中国植林事業に参加して～	マジシャン ジミー柴田 柴田 洋司
1月7日	世代間交流	「七草がゆのつどい」	大和子ども活動実行委員、大和ふれあい大学運営委員
1月27日	人権教育	「輝いて生きよう」	里山元気塾 塾長 小谷 博徳
1月27日	健康	「元気で長生きするために」～生活の中に運動をとり入れて～	フィットネスクラブパジャ 健康運動指導士 前田 美香



平成25年度 学習講座一覧



平成25年度 公民館学習講座

明道公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
4月16日	現地学習	「斐伊川堤防桜並木を訪ねて」	現地解説員
6月5日	歴史	「奥日野を訪ねて」	奥日野ガイド倶楽部
8月6日	料理	「簡単にできるざる豆腐」	西部農業改良普及所
8月30日	現地学習	「鷹入りの滝ウォーキング」	公民館職員
10月11日	現地学習	「象山ウォーキング」	公民館職員
12月20日	伝承	「しめ縄づくり」正月を迎えるしめ縄を作りましょう	世良田 義男他3名

就将公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
5月17日	体験	「七宝焼き」	吉田 鈴谷
6月18日	料理	「いつも脇役のこんにゃく料理を主役にパート2」	井澤 佳英子
7月18日	現地学習	「航空自衛隊美保基地に行ってみようパート2」	航空自衛隊広報部員
8月30日	体験	「和紙あかり」	進木 富夫
10月1日	体験	「ポーセラーツを楽しもう」	國武 真知子
11月8日	料理	「パン・ぱん」	神庭 明子
12月6日	体験	「そば打ち体験」	梅原 功
12月12日	料理	「お正月おもてなし料理」	食生活改善推進員



啓成公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
4月18日	実習	「テーブルマナー講習会」	バンケット&ウェディングシュシュ 村岡 誠一
6月4日	実習	「風呂敷は重宝～包み方・結び方のいろいろ～」	NPO法人鳥取県消費者協会
9月20日	教急救命	「救命救急法・AED講習、煙体験」	米子消防署職員
10月9日	教養	「押し絵で来年の干支作り」	門脇 由子 門脇 康子

義方公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
6月18日 6月25日	手芸	パッチワーク	岡本 明子
7月5日	教急救命	AED講習会	米子消防署 浜田 氏
8月21日	現地学習	「ダイマツ水産・千代むすび酒造」	各社社員
10月10日	手芸	「布の吊るし飾り」	勝田 洋子
11月21日	体験	「手打ちそばに挑戦」	日光地区協議会
12月8日	体験	「正月の寄せ植え」	長住 武美
2月4日	実習	「風呂敷は重宝」	鳥取県消費者協会

住吉公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
7月7日	料理	親子料理教室	食生活改善推進員会 松本 涼子
8月27日	現地学習	「地元企業見学 稲田酒造～ダイマツ～」	
10月19日	手芸	「手芸教室リッチウォーマー作り」	奥本 紀子
11月5日	体験	「絵手紙教室」	公民館絵手紙教室講師 米田 松栄
2月6日	体験	「味噌作り」	田村商店 田村 範夫

車尾公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
6月18日	体験	「ファブリックステンシル体験」	ファブリックステンシル講師 西村 鈴美
7月5日	健康	「夏に向けて疲れにくい体づくり」	神原 瑠衣
10月17日	実習	「押し絵 来年の干支作り」	門脇 由子 門脇 康子
12月7日	伝承	「しめ縄づくり」	仲田 晏充・田中 寿雄
2月9日	教養	「自転車の安全な乗り方」	シルバーセッティインストラクター 高田 賢治

加茂公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
6月5日	体験学習	「ラフターヨガ」	インターナショナル認定リーダー 米原 宏美
7月30日	体験学習	「おしゃれな風呂敷活用法」	鳥取県消費者協会 理事長 安本 仁子
10月4日	体験学習	「グラスアート」	ふしぎな花俱楽部 グラスアートインストラクター 隠樹 信子
1月22日	体験学習	「味噌作り」	田村商店 田村 範夫

河崎公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
4月22日	料理	料理教室(たけのこご飯・若竹煮ほか)	瀬尾 千鶴
5月27日	料理	お菓子づくり(まぐろと長いものづけ丼 フルーツゼリーほか)	よなご幸朋苑 管理栄養士 松本 幹
6月24日	料理	料理教室(夏野菜と炒り卵のドライカレーほか)	松原 有美・藤井 瞳子(くこの実)
10月4日	体験学習	「ウォーキングで地域探訪」	岡田 信行(河崎校区民)
11月8日	料理	「男の料理教室」	中合 昌三(河崎校区民)
1月22日	体験学習	「味噌作り」①	岩山 栄子(河崎校区民)
1月30日	料理	「味噌作り」②	岩山 栄子(河崎校区民)

福生東公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
5月17日	教養	「指画濱田珠鳳」アトリエ見学会	濱田 珠鳳
7月19日	手芸	「クラフトテープでかご作り」	木下 寿美子
7月23日	伝承	「盆踊り」	八本 益幸・八原 恒美
9月19日	健康	「健康ウォーキング」	伊藤 和子
10月30日	体験学習	「和紙あかり作り」	進木 富夫
11月22日	歴史	「野崎家塩田歴史館」他	地元ボランティア
12月3日	料理	「正月料理教室」	三宅 基江
12月21日	伝承	「しめ縄づくり」	八田 和
1月5日	交流	新年あいさつのつどい	柴田 洋司
2月3日	料理	「味噌作り教室」	田村商店 田村 範義

福生西公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
5月27日	料理	「韓国料理を作つてみよう！」	金山 春美
10月3日	体験学習	「パステルアートを楽しもう！」	近藤 ひとみ
10月25日	手芸	「変わり毛糸で編む指編みマフラー」	渡辺 紀世子
12月12日	体験学習	「正月用寄せ植え教室」	奥田 光里(奥田 園芸)
1月27日	交流会	味噌づくり交流会	ふきのとうの会

福米東公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
4月23日	現地学習	「鹿野町城下町を訪ねて」	青谷上寺地遺跡展示館職員
5月13日	現地学習	「大山横手道散策と座禅体験」	大山阿弥陀堂 清水住職 圓流院 館長 大山町観光ガイド
7月5日	園芸	「こけ玉作りに挑戦」	江戸 賢司(園芸センターえど)
8月23日	現地学習	「フジッコフルーズ工場見学」	フジッコフルーズ職員
10月3日	実習	「造花アレンジをしましよう」	森尾 恵(インテリアフラワーコーディネーター)
1月30日	料理	「みそづくり講習会」	小村宣子(ふきのとうの会)

福米西公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
9月3日	防災	風呂敷は重宝	安本 仁子氏 他3名(鳥取県消費者協会)
9月26日	実習	絵手紙	中田 七重
10月17日	歴史	わがまち再発見	坂口 芳夫氏、福原 重男氏、生林 隆輝氏
11月11日	救急	救急救命講習(AED)	戸塚 勝彦氏 西川氏(米子消防署 皆生出張所)
1月24日	健康	自宅で実践できる簡単トレーニング	フィットネスクラブジャパン 山川 了史

彦名公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
7月30日	健康	「大山ウォーキング」	宮本 氏(ボランティアガイド)
10月11日	手芸	「和紙で作るランプ」	進木 富夫氏(遊楽隣工房)
1月17日	国際交流	「ロシア料理ペリメニ・ピロシキを作ろう」	ジェルノワヤ・ユーリア氏(鳥取県国際交流員)
1月31日	料理	「味噌作り」	田村 範夫(田村商店)

崎津公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
8月8日	料理	夏休み子どもクッキング教室(ジュニアお楽しみ学習)	秋鹿 洋子(崎津料理クラブ)
11月13日	手芸	「マカロンのストラップ作り」	吉村 万里子
12月7日	世代間交流	「しめ縄づくり」	松本 勉 ほか(崎津1区しめ縄保存会)
1月7日	学習	書初め会(ジュニアお楽しみ学習)	松元 清治氏他(崎津書画クラブ)
2月12日	料理	味噌づくり	田村 範夫(田村 商店)
3月18日	現地学習	「地元の企業をみてみよう」	

和田公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
8月5日	特別講座	「熱走風子! ~3,624日間111ヶ国 14,026Km~」	加藤 彰(自転車野郎アキラ)
9月26日	体験講座	「陶芸体験」	来待ストーン夢工房
10月8日	健康	「健康ウォーキング美保基地見学・部隊 食体験」	
10月18日	体験講座	「山の幸染め~アイロンで手軽に染物を ~」	深田手芸編み物教室講師 深田 淑子
12月19日	伝承	「しめ縄づくり」	吉岡 節雄 古井 善久

富益公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
11月20日	料理	「料理教室」	富益地区食生活推進委員会 木村 静子
1月6日	教養	「新春書初め」	後藤 文平
2月15日	料理	「料理教室」	徳本 博子
2月24日	救急救命	「AED講習会」	米子消防署 弓浜主張所
3月12日	歴史	「富益町散策」	足立 泰雄

夜見公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
7月30日	実技	大山ウォーキング	ボランティアガイド 宮本 氏
10月11日	実技	和紙で作るランプ	遊楽隣工房 進木 富夫
1月17日	料理	「ロシア料理 ペリメニ、ピロシキを作ろう」	鳥取県国際交流員 ジエルノワヤ・ユーリア
1月31日	料理	味噌作り教室	田村 範夫

大篠津公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
4月22日	郊外学習	「蜷川実花・蜷川宏子二人展」と鹿野町お堀端散策	
7月5日	実習	「和紙あかりづくり」	遊楽隣工房 代表 進木 富雄
10月19日	手芸	「クラフトテープで作るバッグ作り」	柴田 貞子
10月22日			
12月17日	実習	「クリスマスフラワー装飾」	横山 優子
1月30日	実習	味噌作り	田村 範夫(田村商店)

成実公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
6月11日	実技	「手作り豆腐を作ろう」	齊木 正枝
10月18日	現地学習	「いきいきウォーキング」	公民館長 奈喜良 足羽 輝美
10月28日	手芸	「キルトで万能ポーチを作ろう」	岡本 明子
11月5日			
12月7日	伝統	「手作りしめなわで新年を！」	橋谷 多美子・細田 幹人・西賀 賢一
2月6日	救急救命	「AED講習会」	米子市消防署職員

春日公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
7月30日	体験	「夏休み子ども絵画教室」	現代美術家協会会員 遠藤 師夫 元中学校教諭 奥田 洋子
12月11日	料理	「おいしい旬の漬物講座」	植田 哲司
12月21日	伝承	「しめ縄講習会」	吉川 隼躬
2月6日	料理	みそづくり講習会	田村商店 田村 範夫

尚徳公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
7月7日	料理	子ども料理教室(炒めナムル丼など)	食生活改善推進委員 谷本 八重子 前田 久枝
8月2日	現地学習	「市役所の議場と中海テレビ」	市議会事務局・中海テレビ
7月1日	実習	「牛乳パックいすづくり」	頭本 榮子
8月20日			
10月3日	手芸	「干支の押絵」	門脇 由子 門脇 康子
12月6日	伝承	「子ども茶道教室」	野坂 東
12月10日	実習	「お正月用もち花づくり・ミニ門松づくり」	長谷川 敬子 遠藤 修司

五千石公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
6月25日	健康	「お気楽ヨガ」	健康運動指導士 AFAAマットサイエンスインストラクター 生田 景子
7月10日	介護	「介護入門」	米子市尚徳地域包括支援センター
8月21日	実習	「コパークラフト教室」	コパーートインストラクター 古山 真樹子
11月27日	園芸	「クリスマス寄せ植え教室」	江戸 賢司
12月11日	料理	「正月料理教室」	食生活改善推進委員 会長 岩野 東世子
12月18日	伝承	「しめ縄教室」	中崎 田鶴江

永江公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
4月25日	健康	「上手に医者にかかるには」	消防署 小酒外科医院 小酒浩先生
5月22日	健康	「あるいて学習～米子そぞろ歩き～」	細木 福雄
8月27日	手芸	「裂き織りにチャレンジ」	いもじや秀次郎秀次郎
10月9日	手芸	「エコクラフトにチャレンジ」	手芸愛好家 中本 益代・下本 晴美
12月14日	伝承	「しめ縄づくり」	渡部 利徳・藤井 那庶
2月14日	料理	「男の料理教室 プリン・ロールケーキ」	戸田 正幸
2月24日			
2月25日	健康	「ウォーキングよもやま話」	ウォーキング愛好家 渡辺 賢一

巣公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
5月21日	郊外学習	「出雲大社」と「松江イングリッシュガーデン」	
9月11日	実習	「はじめての陶芸」	講師
10月16日	実習	「ひの木アート～木香花～」	鳥井 千代子
12月6日	伝承	「しめ縄教室」	北嶋 寛・妹田 次夫・嶋崎 定雄・松村 昭男
1月27日	実習	「風呂敷は重宝！」	NPO法人鳥取消費者協会 理事長 安本 仁子
2月8日	料理	「お菓子作り教室」	池田 久美子、赤野 佳恵

県公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
6月5日	手芸	「クラフトテープでかご作り」	木下 寿美子
7月10日	啓発	「悪質商法ノックアウトかるた」	NPO法人鳥取県消費者協会 安本 仁子
7月23日	環境	「三光株式会社見学」	三光株式会社職員
12月4日	料理	「正月料理教室」	食生活推進委員会 野坂 英子
12月17日	伝承	「しめ縄づくり」	田中 義雄(日下自治会)
12月20日	体験	「クリスマスのフラワーアレンジメント」	岡島 百合子(県地区女性部)

大高公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
4月22日	健康	Let'sウォーキング①～風を感じて歩こう～	渡辺 賢一(前米子市体育指導員)
6月7日	健康	「笑いヨガ」	吉川 伸子
8月6日	啓発	「だまされないぞ！悪徳商法ノックアウトかるた」	鳥取県消費者協会 安本 仁子
9月24日	実践	「風呂敷は重宝～包み方・結び方の色々」	鳥取県消費者協会 安本 仁子
10月2日	実習	「ハーブ＆アロマでオリジナル石鹼作り」	Reome店長 細田 和美
11月14日	健康	Let'sウォーキング②～風を感じて歩こう～	渡辺 賢一(前米子市体育指導員)
12月5日	料理	「おもてなし料理教室」	食生活改善推進員
3月17日	料理	「本格インド料理に挑戦！～スパイスをマスター～」	インド料理講師 カーン有里

淀江公民館 宇田川分館

開催日	ジャンル	内容	講師
4月24日	健康	「膝関節痛・腰痛」～予防と痛みへのアドバイス～	大山リハビリテーション病院 理学療法士 富村 浩太
5月3日	現地学習	「淀江の名水ウォーク」	名水ガイド 山根 正敬・長谷川 明洋・長谷川 晋也
6月29日	介護	「いつまでも住み慣れた家でくらすため」	淀江包括センター 小原 泉・大田 智子
7月30日	家庭教育	「子どもと話そう いのちの話」	ミオ・ファティリティ・クリニック 看護師 葉山 美紀子
8月9日	人権	「小さな手のぬくもり」	元米子市人権政策課 坂田 かおり
10月28日	現地学習	「大山ハム、フジッコフーズ」	大山ハム、フジッコフーズ職員
11月23日	園芸	「クリスマス・お正月寄せ植え教室」	ガーデニングアドバイザー吉野 啓子
12月10日	健康	「仲間と楽しみ、体も心もリフレッシュ」	鳥取県西部レクリエーション協会 安田 智
12月10日	音楽	「やさしい音色につつれて」	米子市管弦楽団 団長 本田 裕美子
1月7日	異世代間交流	「七草がゆのつどい」	新見 幸夫
1月20～22日	料理	「味噌づくり教室」	リスネット

淀江公民館

開催日	ジャンル	内容	講師
4月19日	環境	「安心できるくらしのために」	NPO法人鳥取県消費者協会理事長 安本 仁子
4月19日	健康	「血圧のお話～薬を飲んでいるから大丈夫？」	山陰労災病院循環器医師 水田 栄之助
6月15日	歴史	淀江歴史探検隊②「中世の淀江-I」	米子市教育委員会文化課職員 岩田 文章 淀江公民館 前館長 田中 秀明
6月27日	家庭教育	「子育てエンジョイライフ」	鳥取県立大山青年の家所長 原田 雅文
7月5日	健康	「認知症を理解して予防しよう」	鳥取大学医学部保険学課教授 浦上 克哉
7月12日	現地学習	「大山の自然観察」	自然公園指導員 山根 正敬
9月21日	歴史	淀江歴史探検隊21「中世の淀江-II」	米子市教育委員会文化課職員 岩田 文章 淀江公民館 前館長 田中 秀明
12月20日	伝承	「しめ縄作り」	地域指導員 渡瀬 亮
1月7日	伝承	「鳥追い行事」	地域指導者 新見 幸夫・生田仁
2月21日	人権	「心の笑顔」	曹洞宗泉龍寺住職 三島 道秀

平成25年度 体育・文化事業一覧



平成25年度 運動会日程一覧

地区	月日	開始時刻	イベント名	会場
大篠津 夜見 崎津 和田 富益	5/12 5/12 5/12 5/12 5/26	9:00 9:00 9:30 8:45 9:00	大篠津町民運動会 夜見町民大運動会 校区民運動会 和田町民大運動会 富益町民大運動会	大篠津小学校 夜見町民グラウンド 崎津小学校 和田小学校 弓ヶ浜中学校
福米東 就将 義方 住吉 加茂 河崎 福生西 彦名 成実 尚徳 五千石 啓成 永江 福生東 福米西 宇田川 大和 車尾 春日 巖 県 大高 淀江	6/16 9/29 9/29 9/29 9/29 9/29 9/29 9/29 9/29 9/29 9/29 10/6 10/6 10/6 10/6 10/13 10/13 10/13 10/13 10/13 10/13 10/13 10/13	8:45 8:50 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:00 9:30 8:45 9:00 8:15 8:30 8:45 9:00 9:00	福米東校区民大運動会 就将校区民大運動会 義方校区民大運動会 住吉校区スポーツDay 加茂校区民大運動会 河崎校区大運動会 福生西校区民大運動会 彦名町民大運動会 成実地区大運動会 尚徳地区大運動会 五千石地区民大運動会 啓成校区運動会 永江地区民大運動会 福生東校区民親睦大運動会 福米西校区民大運動会 宇田川地区町民運動会 大和地区町民運動会 車尾校区民大運動会 春日地区大運動会 巖地区民運動会 県地区民大運動会 大高地区市民運動会 淀江地区町民大運動会	福米東小学校グラウンド 就将小学校グラウンド 義方小学校グラウンド 養和会YAJINフィールド 加茂小学校グラウンド 河崎小学校グラウンド 福生西小学校グラウンド 彦名小学校グラウンド 成実小学校グラウンド 尚徳小学校グラウンド 五千石小学校グラウンド 啓成小学校グラウンド 永江運動公園 福生東小学校グラウンド 福米西小学校グラウンド 宇田川グラウンド 大和公園運動広場 車尾小学校グラウンド 春日公民館前グラウンド 箕蚊屋小学校グラウンド 県グラウンド 伯仙小学校グラウンド 淀江スポーツ広場

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業一覧



平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

明道

事業名称	ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	明道地区の教育活動の中心である明道公民館を拠点に、すばらしい能力や資質を持った住民の総合力を活かし、地区の子どもは地区のみんなで育てるとし、住民が主体になって、活力のある住みよい明道地区のひとづくり・まちづくりを推進する。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休み子ども絵画教室 ・ " 木工教室 ・ " ソフトテニス教室 ・ " キャンプ ・ 研修会 泉龍寺 ・ 明道地区子ども見守り隊の充実 ・ まちの環境整備
成果・課題等	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年来「子どもの歓声が上がる公民館」を目指し活力のあるひとづくり・まちづくりを中心課題としてやってきて、定着した。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進事業に女性の年配者・子どもの参加は定着してきたが、それに比べると年配の男性の参加が少ないので、多く参加していただけるよう努力したい。

平成25度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

就 将

事業名称	ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	<ul style="list-style-type: none"> ○『就将の宝』散策の会 年間6回実施 ○中山間地交流事業 年間4回実施 ○公民館周辺グリーン化事業 年2回
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○中山間地交流事業 <ul style="list-style-type: none"> ・南部町ブルーベリー狩り 7月15日 ・サマーキャンプ in あいみ 7月30日～31日 ・グラウンドゴルフ大会（就将GG大会） 5月12日 ・グラウンドゴルフ大会（南部町GG大会） 6月23日 ・公民館祭売店出店 10月20日 ・そば打ち交流（学習講座） 12月6日 ○公民館花壇整備 <ul style="list-style-type: none"> ・春の花壇整備 6月4日 ・秋の花壇整備 10月11日 ○『就将の宝』散策の会 <ul style="list-style-type: none"> ・行者山からヤッホー 4月20日 ・JR米子駅構内見学 6月21日 ・製作者と歩く彫刻ロード 8月7日 ・加茂川遊覧と下町散策 9月8日 ・裁判所見学 10月16日 ・中海クルージング＆粟島神社見学 10月30日 ・新加茂川ウォーク 11月21日 ・三社詣 1月16日
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地交流、特に『サマーキャンプ in あいみ』を通じ、大人と子どもの輪が広がった。 ・プランターや棚等の工夫により花壇が見栄え良くなった。又グリーンカーテンが成長し地区住民等にも好評だった。 ・『就将の宝散策の会』も会として成熟してきたが、さらにどう発展させるかが今後の課題である。

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

啓 成

事業名称	啓成地区ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	<p>住民が主体となり、明るく健やかに安心して生活できる、環境の整った住みよいまちづくりを推進する。</p> <p>スローガン 『明るいまち・元気なまち・みんなのまち 啓成』</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○納涼フェスティバル 今年度は第10回目を迎え、ひとりでも多くの参加者をと、内容に工夫を凝らした結果、例年よりも多くの来場、参加があり、盛り上がった。近隣の小・中・高校との連携をもち、演奏出演に協力を得、地域ボランティア等の協力で、和やかな雰囲気の中、人と人との繋がりを深めることができた。 ○伝承事業米子田植唄保存会 米子田植唄保存会も公民館を核に活動し、知名度も上がり、新メンバーを迎えることができ、各地域から出演依頼も受けるようになった。 ○花いっぱいまちづくり 通年、公民館周辺、小学校周辺等、地域ボランティアの方達による自主的な環境整備で、花の咲く美しいまちづくりが広がっている。 ○啓成小学校との交流事業、視察研修 今年度は伯耆町役場溝口分庁舎へ出かけ、伯耆町教育委員会ボランティアグループと交流研修会をし、今後の小学校との交流事業、支援の取り組みの参考にすることができた。
成果・課題等	<p>「明るいまち・元気なまち・みんなのまち啓成」のスローガンのもと、運営協議会の各部員が主体となり事業を計画・実行した。各町区のサロン活動を通して活性化を図り、地域住民の学習成果を活かす場が拡充してきた。</p> <p>今後もより一層住みよいまちづくりを進めるため、課題を見出し、地域で連携を取りながら問題解決を図っていきたい。</p>

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

義 方

事業名称	ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	住民が主体となり、明るく健康で、安心して生活できる環境の整った地域社会の実現を目指すことを目的とする。 自治会及び各種団体等の相互の連携により、学習活動や実践活動を通じて、地域住民の総合力を高め、住みよい義方のまちづくりを推進する。
内 容	<p>1. ぎほう夏祭り 地域の子どもたちを地域で育てるなどを合言葉に子供も大人も楽しめるイベント、ゲーム大会、屋台村、スイカ割り、バルーンコーナー 義方小学校プラスバンド演奏により祭りを盛り上げる。</p> <p>2. (世代間交流) しめ縄教室 日本の伝統行事を体験する。 しめ縄の起源とそれに込められた願いの学習。 親、祖父母の代も参加することによる世代間交流の場とする。</p> <p>3. (世代間交流) 囲碁将棋大会 小中高の青少年にも呼び掛け、世代間交流を兼ねて親睦を深める。 祖父と一緒に参加した小学生もあり、和やかにふれあう良い機会となった。</p> <p>4. (世代間交流) 餅つき大会 うすと杵で餅をつき、食生活改善推進員のみなさんの指導により小餅に丸める。</p> <p>5. 日光公民館との交流により、お互いが抱えている問題について意見交換し、参考にする。</p>
成果・課題等	地域の子どもは地域で育てるという意識を高める。 子どもと一緒に伝統行事を行うということで、子どもたちとその親世代、祖父母世代といった異世代間交流を図り、日常の生活においてもあいさつや会話が出来る環境作りに成果を上げることが出来た。

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

住 吉

事業名称	ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	子どもから高齢者まで、心身ともに健やかで活力あふれる人をつくり、豊かで住みよいまちづくりを、地域住民が自ら計画し推進していく。
内 容	<p>○青少年育成事業</p> <p>未来を担う子どもたちを非行や犯罪から守り、健全に育成するために、地域住民の防犯ネットワーク確立に努めた。青少年育成会を中心として地域ボランティアが巡回パトロールしている。目印の黄色ベスト着用者は趣旨を理解した上で自主的に登録し、無理のない範囲で児童・生徒の登下校時にあわせて見守りをしてもらっている。</p> <p>○環境美化推進事業</p> <p>花いっぱい運動として各自治会に花苗を春用・秋用と年2回配り育ててもらった。各自治会で水かけや保守管理に取組みきれいな町にしようという意識を高めた。</p>
成果・課題等	<p>花いっぱい運動は、春・秋ともには1200本の苗を購入し各自治会で育ててもらった。破損したプランターの買い替えや追加、肥料や土も配布した。寒さにもめげず1年中色とりどりの花が咲き誇っています。</p> <p>黄色ベスト着用者は今年度も着実に増加しています。趣旨に賛同し見守り活動を積極的に実施している。ベスト購入は青少年育成会からが主になっている。</p> <p>来年度も二事業はそのまま継続する事を決定しているので、今後さらに組織をどう拡大し強化していくかが課題である。</p>

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

(車尾)

事業名称	車尾地区ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	<p>当地区では当面、世帯数や児童数の漸増が見込まれている。</p> <p>そのため、広く住民が交わり、融和していく機会を持つことは極めて大切である。とりわけ、子どもたちの健全育成は重要な柱となる。</p> <p>このような観点から、「車尾」地区の一層の充実、伸長を期して、公民館運営委員会を軸に、下記の事業を実施する。</p>
内 容	<p>◎ 環境美化推進活動 12月23日(月) 公民館環境美化</p> <p>◎ 世代間交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>第8回 くずも・夏のステージ</u> <p>日時：7月20日(土) 午後4時～6時 場所：車尾小学校体育館 出演団体：車尾保育園、車尾エンジェル・ボイス、東山中学校吹奏楽部、3区子ども会 大正琴同好会、民踊クラブ、アッキー&サキソフォンフレンズ(ゲスト)</p> <p>観客数 約600名</p> • <u>第5回 おたのしみ会</u> <p>日時：平成26年1月23日(木) 午前10時～12時 ＊「歌と踊り・エプロンシアター・紙芝居・手遊び・バルーンアート」 主催：車尾の子どもを育てる会 参加者：保育園児、子育てサークル、育てる会委員等約70名</p> ◎ 地域交流事業 <ul style="list-style-type: none"> • <u>第17回 くずも・ふれあい12時間ソフトボール大会</u> <p>日時：8月10日(土)午後7時～11日(日)午前7時 結果：57イニング 【紅組】107点 対 【白組】109点 で白組が優勝 【紅組】3区、5区、6区、7区、観音寺、王子社宅、観音寺新町3、観音寺新町4 【白組】2区、4区、中島、戸上、観音寺新町1、観音寺新町2、観音寺新町5</p>
成果・課題等	<p>「温かい心あふれる町くずも」を目指して事業を展開している。くずも・夏のステージは年々定着しつつある。おたのしみ会も子どもたちと地域の方々とのふれあいで盛り上がり文字通りおたのしみ会となってきた。ただ、12時間ソフトボール大会に関しては、役員の中からも見直してほしいという意見もあり、今後検討していく必要があると思われる。</p> <p>また、地域の桜植樹に関しては季節に花見ができるほどになり、一応の目的が達成したように思われる。</p> <p>今後とも住民が主体となって、将来の地域づくりを推進していきたい。</p>

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

(加茂)

事業名称	ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	校区民運動会を開催することにより、地域住民の交流の促進、地域の活性化を図り、加茂校区のまちづくりの推進に役立てるこことする。
内 容	校区民運動会のプログラムの発行
成果・課題等	プログラムを発行し、自治会を通じて各戸配布することにより、事前に競技内容の周知を図ることができ、運動会を円滑に運営することができた。 また、役員の名簿を掲載することにより、地域住民に対して運動会での役割を認識していただき、住民の中での連携が図られ、意識の共有化が図られた。

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

河崎

事業名称	住みたいまち～河崎～
ねらい・目標	<p>住民が地域づくりに積極的に関わって自らを成長させ、活動を通じ教育力を高めながら、ひとづくり・まちづくりを推進する。</p> <p>公民館、学校、自治会、各種団体が地域づくりの拠点として豊かな人間関係の形成や、地域社会の構築に重要な役割を果たすことを目指したい。</p>
内 容	<p>1. 河崎伝承芸能フェスティバル 7月20日(土)</p> <p>昨年に続き伯耆町鬼面太鼓子供連の皆様による和太鼓演奏で始まった第九回伝承芸能フェスティバル。自治会代表の歌・踊り・寸劇や同好会の発表等賑やかに開催された。伝承芸能としての「河崎花がさおどり」やこどもによる「河崎音頭」「米子がいな音頭」も定着してきている。</p> <p>2. 景観まちづくり</p> <p>環境部員を中心に花壇の花植え、地域住民や老人クラブによる公民館周辺の清掃と松の手入れは、多くの方に参加していただき、環境美化の意識が高まりつつある。</p> <p>3. 河崎っ子支援事業～未来を託す子どもたちへ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ちまき作り 6月8日(土) 参加者 69名 ② 夏休み子ども工作教室 「アルミ缶で風車を作ろう」 8月12日(月) 参加者 17名 ③ 夏休み絵画教室 8月19日(月) 参加者 35名 ④ 連合子ども会レクリエーション「グラウンド・ゴルフ大会」 11月2日(土) 参加者 22名 <p>4. 防災プロジェクト～IN河崎</p> <p>島根原子力発電所防災訓練実施（鳥取県・米子市共催） 11月10日(日) 参加者 約150名</p>
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・例年行っている事業は住民の積極的な参加と協力により、定着しつつある。 ・島根原子力発電所防災訓練は初めての実施であったけれども、多数の参加者がありいろいろな問題点もみつかって、今後の避難計画の見直しにつながる訓練になった。 ・来年度第10回目の節目を迎える「河崎伝承芸能フェスティバル」を今後どのようにしていくのか検討課題。

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書 福生東

事業名称	福生東ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	<p>多くの校区民が興味を持ち気軽に参加できる「新しい交流の場」をつくり、明るく元気なまちづくりを目指す。</p> <p>次の3項目を「取組のねらい」とする。</p> <p>(1)地域の特徴を生かした「新規な発想による交流推進活動」</p> <p>(2)地域の古くから伝わる「歴史と伝統文化の掘り起こし」</p> <p>(3)大人と子どもの交流による「子どもの育成と安全支援」</p>
内 容	<p>(1)地域交流推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校区ふれあい余芸大会 10月27日（日） <ul style="list-style-type: none"> ・企画から運営まで委員が中心となって計画し、実行することができ、委員が自信を持って活動ができるようになった。出演者の熱意が、会場に伝わり、一体となり大変盛り上がった大会となった。 ○福生まつり「地産地消の集い」 11月10日（日） <ul style="list-style-type: none"> ・地元で生産した野菜・花や皆生の海で捕れた魚介類の販売を通して、地域に住んでいる人と人の交流を深めることができた。 ○水墨画・書道展 11月10日（日） <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の書道家と水墨画家が合同で開催し、芸術に触れるきっかけとなった。また、体験コーナーも行ない、芸術を身近に感じて頂くことができた。 ○凧作りと凧揚げ交流大会 7月29日～31日・11月4日（日） <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民で公民館凧を作成するにあたり、参加者が協力しあい、立派な凧を作ることができ、連帯感を深めることができた。日野川河川敷においての大凧揚げ大会にも参加し、交流を図った。 ○正月をお祝いする交流会 1月5日（日） <ul style="list-style-type: none"> ・新年を校区民でお祝いし、今年の福生東校区の活力のある豊かな住みよい地域を作るよう意見交換を行い連携を深めた。 <p>(2)地域歴史探訪推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地域の史跡探訪ウォーキング」 11月25日（月） <ul style="list-style-type: none"> ・地区には多くの史跡が残っており、地域の宝を再確認するよい機会となった。 <p>(3)子どもの育成と安全支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもと大人のキャンプ体験交流会 7月27日（土）～28日（日） <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験の少ない子ども達に水鉄砲作りや火おこしなど生活に必要なことを体験することで自主性や協調性を育てることができた。また3世代の交流を深めることができた。

成果・課題等	<ul style="list-style-type: none">・福生まつりは毎回楽しみにしている地域の方が多くなり、交流の輪が広がってきた。しかし、生産者が高齢化し、継続が難しくなってきつつあるが内容等について検討する必要がある。・キャンプ体験交流会は定着し、子ども達が自主的に活動する機会を多く持ち、自信をつけることが少しずつでき、大人も見守りながら交流を深めることができた。・一つのものをみんなで作る楽しさがわかり、達成感を感じることができ、信頼感が生まれた。
--------	---

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書 福生西

事業名称	福生西校区ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	地域住民が主体となって、明るく健康で安心して生活できる地域づくりを推進し、地域社会が活性化する事業を実施する。
内 容	<p>1. 会員及び地域住民の研修開催 生き抜く力を育む防災教育について 9/22</p> <p>2. ふれあい夏まつりの実施 8/4 (皆生海浜公園)</p> <p>3. 災害時避難マニュアル作成検討委員会の活動継続</p> <p>災害別にマニュアルが作成された。それをさらに肉付けし、具体化するために以下の3部会に分かれて活動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災知識の普及と意識の高揚 ・ 避難方法について ・ 災害時要援護者の対応について
成果・課題等	<p>・「ふれあい夏まつり」は校区住民に定着し、神輿行列は益々盛大になっている。しかし、大人も子どもも神輿行列に行ってしまうので、その間の舞台発表の出演団体数や観客数が少なくなるという表裏一体の結果となる。この点を改善する方法と、さらに盛り上がる方法を考えてもらいながら、今後もずっと継続していく大きな事業となっている。</p> <p>・昨年度から作成委員会を立ち上げ、各災害ごとのマニュアルが完成した。3部会に分かれてそれぞれに検討し活動してきたが、やり方が不十分だったり、部会ごとに取組みの速度が違うため、推進が遅れている。自治会で自主防災組織結成を目標に推進する自治会と、「この委員会でそこまでするのが当たり前」と豪語して憚らない自治会と両極端な状態にある。自分達の暮らす町について「安全安心なまちづくり」とは何か、どうあるべきか、もう一度原点に立ち返って足並みを揃えていく時期ではないだろうかと考える。</p>

平成25度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書 福米東

事業名称	ひとづくり・まちづくり推進事業														
ねらい・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・福米東地区の子どもから高齢者まで参加できる事業を行い、人と人との交流の場を提供する。 ・各事業を明るく楽しく行い、活力ある地域を作る。 ・事業を住民主体で推進することを基本とし、地域人材の発掘育成を行う。 														
内 容	<p>1) 音楽のゆうべー1000人参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真夏の宵、小学校の体育館で奏でる音楽のハーモニー <p>○期日 平成25年8月17日(土)17:30~19:40 実施</p> <p>○場所 福米東小学校体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福米東小学校金管バンド演奏 <table> <tr> <td>曲名『THE MELODY MAKERS'』他</td> <td>56名</td> </tr> <tr> <td>・福米中学校吹奏楽部演奏</td> <td></td> </tr> <tr> <td>曲名『グレンミラーメドレー』他</td> <td>51名</td> </tr> <tr> <td>・米子北高等学校吹奏楽部演奏</td> <td></td> </tr> <tr> <td>曲名『エンターテインメントマーチ』他</td> <td>72名</td> </tr> <tr> <td>・ふくじゅ楽しくうたう会 曲名『うみ』他</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td>・LST 曲名『10歳おめでとう』他</td> <td>10名</td> </tr> </table> <p>2) カラオケ大会ー20名参加</p> <p>○期日 平成25年10月19日(土)実施</p> <p>○場所 福米東公民館・特設ステージ</p> <p>3) もちつき大会ー200名参加</p> <p>親と子どもと高齢者とのもちつき大会。一人暮らしのお年寄りに作った餅を配達。本年は190人に配布した。</p> <p>○期日 平成25年12月7日(土)実施</p> <p>○場所 福米東公民館</p> <p>4) ベ縄つくりー40名参加</p> <p>大人と子どものベ縄づくり</p> <p>○期日 平成25年12月21日(土)実施</p> <p>○場所 福米東公民館</p> <p>しめ縄名人と地域有志の方が応援参加され、子ども達と一緒に伝統のしめ縄づくりを行った。</p>	曲名『THE MELODY MAKERS'』他	56名	・福米中学校吹奏楽部演奏		曲名『グレンミラーメドレー』他	51名	・米子北高等学校吹奏楽部演奏		曲名『エンターテインメントマーチ』他	72名	・ふくじゅ楽しくうたう会 曲名『うみ』他	35名	・LST 曲名『10歳おめでとう』他	10名
曲名『THE MELODY MAKERS'』他	56名														
・福米中学校吹奏楽部演奏															
曲名『グレンミラーメドレー』他	51名														
・米子北高等学校吹奏楽部演奏															
曲名『エンターテインメントマーチ』他	72名														
・ふくじゅ楽しくうたう会 曲名『うみ』他	35名														
・LST 曲名『10歳おめでとう』他	10名														
成果・課題等	<p>音楽のゆうべでは、小学校の金管バンドから、中学校、高校の吹奏楽部へと成長していく子どもたちを、地域を上げて応援している姿が見れてよかったです。</p> <p>もちつき大会は、子どもと高齢者が一緒に交流できるよい事業だった。</p> <p>しめ縄づくりは、地域の名人さんも高齢化てきて、この伝統行事を若者に継承していかなければならぬ。</p>														

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

福米西

事業名称	福米西公民館運営協議会 ふれあいの里・花の里「福米西」
ねらい・目標	<p>地域の伝承文化や特性を最大限に活用し、住民が世代を超えて積極的にかかわることのできるひとづくり・まちづくりを推進する。</p> <p>公民館を中心に自治会・学校・各団体が地域づくりの拠点となり、協働で活力ある豊かな地域の構築を図り次世代に継承する。</p>
内 容	<p>1 盆踊り大会</p> <p>地域に古くから伝わる伝統芸能の盆踊りを次世代に継承するために、事前に踊りの練習日を2日間設けた。福米地区の様子を歌詞に唄い込んだ実施6年目の福米音頭も、福米西小学校の運動会で全校一斉に取り入れられてから2年目を迎え、子ども達に定着してきた。</p> <p>毎年、大人を中心とした盆踊りの「茶町踊り・神戸踊り」は指導者の高齢化により断念せざるを得なくなったが、「関の五本松」踊りは子供たちにも踊り易く、今後も継承していきたい。模擬店も自治会単位で役割を分担し協力を得た。</p> <p>当日の子ども踊り120名余りに加え大人も一緒に大きな踊りの輪は壯観で、盆踊り大会のフィナーレを飾る花火も呼び物として定着し大いに盛り上がった。</p> <p>2 花の里づくり</p> <p>地域内及び公民館周辺を「花の里」と呼ばれるように、環境整備や花植えなど多くの住民の協働で取組んだ。今ではしだれ桜が大きく成長し、樹元に咲く水仙・つつじ・つわぶきと四季折々に地区住民のお花見の場所としても着実に「ふれあいの里・花の里」の輪が広がっている。草取りなどの環境整備も老人会・環境部・有志等により自主的に実施された。</p> <p>3 注連縄づくり</p> <p>お正月を迎えるにあたり、注連縄の指導者がその技術を積極的に伝承された。親子の参加者に加え地域の大人の参加も年々増加し総勢46名で実施した。年代を超えた交流の姿が見られ、毎年開催の必要性を感じる。</p> <p>4 西っ子ふれあい遊び</p> <p>全体で231名(昨年は167名)の参加者があり、元気よく遊ぶ子ども達の姿に継続の必要性を痛感した。遊びの種類をドッヂビー・大縄跳び・コマ・輪投げにしたが、世代を超えてふれあえるので大変盛りあがった。今年度はボランティアとして福米中学校の生徒13名の参加があり、スタッフの一員として大活躍だった。</p>
成果・課題等	<p>自治会・社会福祉協議会・青少年育成会・子ども会・民生委員協議会・老人会など、公民館に関係するあらゆる団体が世代を超えて密に連携し各事業を実施することが出来た。</p> <p>ひとづくり・まちづくり推進事業が実施された初年度より、同じ事業を継続して取り組んできたが年々参加者が増え、すべての事業に於いて地域間・世代間交流の輪が確実に広がって来ている。</p> <p>盆踊り(茶町踊り・神戸踊り)・注連縄など指導者の高齢化に伴い、後継者の育成が早急の課題である。</p>

平成25度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

彦名

事業名称	彦名ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	地域住民が主体となり、公民館を拠点として、様々な活動を通じて住民相互の交流を図り、豊かで住みよい地域づくりを推進する
内 容	<p>じげおこし芸能大会の開催 公民館同好会、教室での学習成果の発表や、住民による芸能の発表、又近隣の障がい者施設や各種団体の参加により地域住民が一体となり、世代間の交流と共に地域文化の創造・伝承をはかる。</p> <p>標語及びポスター募集 ひとづくり・まちづくり、人権、環境美化保全、3部門の標語及びポスターを募集し、優秀作を公民館祭で発表表彰し、標語柱への掲示、広報誌への掲載など、住みよいまちづくりの意識啓発をする。</p> <p>彦名の昨日と明日を語る会 今年度は、公民館大学講座も並行し、地域の歴史をひもとき、郷土への愛着を深め、その過程において地域の人材発掘や、世代間の交流・結束をはかる。</p>
成果・課題等	<p>同好会等への日頃からの働きかけが功を奏したのか、じげおこし芸能大会は、公民館同好会、自治会代表に加え、各種団体もカラオケ一辺倒でなく、趣向をこらした出し物が多く、地元出身の吉本興業鳥取県住みます芸人を司会者に迎え参加者も増加、好評を得た。</p> <p>今後の事業展開は、「子ども見守り」などボランティア組織の育成をし、まちづくりへの参加意識を一層推進できればと思う。</p>

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書 崎 津

事業名称	崎津地区ひとづくりまちづくり推進事業
ねらい・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・住民一人ひとりが、充実した豊かな暮らしができる町づくりを目的とする
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年継続して公民館周辺の四季に応じた花植えをする。来館者的心を癒せられるようにとボランティアの皆さんと企画し、色とりどりの花植えをする ・崎津校区たこ作り・凧上げ大会 ・しめ縄作りを通して地域住民と子どもとの世代間交流。
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、苗を選び、土に工夫をしながら、球根、花苗を植え付ける。水やり等、今後も継続していきたい ・今年は崎津公民館とウインズ米子多目的広場で「たこ作り・凧上げ大会」をした。子どもたちの生活体験を豊かにしようと開いており今年で15回目。小学生、保護者、ボランティアら約100人が参加しにぎやかに開催。継続参加の子どもは、作業が手早くなり、工夫を凝らし、今年は特に出来上がりが速かった。広場に移動、風もあり肌寒い天候ではあったが大人も子どもも一緒に楽しみながら凧あげが出来た 子どもたちは地域の皆さんと顔みしりになり、安心して暮らせる町づくりにつなげることが出来た。

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

和田

事業名称	ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	協働による地域の絆で明るく住みよいまちづくりを推進する。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> *公民館敷地内の草取り、花植えを6月、10月に花植えボランティアによる作業。 *和田芸能大会 公民館同好会、教室、自治会単位の参加により地域の芸能の発表を機会に地域住民の交流を深める。 *公民館運営協議会の研修会 大山自然歴史館 ⇒ 阿弥陀堂 ⇒ 僧兵コース(野草説明) 現地研修を行い、親睦を深める。 *子ども大会 盆踊り大会、公民館祭でのじやんけんポン大会
成果・課題等	<p>和田芸能大会は、公民館教室・同好会の日頃の成果の発表の場所でもあり、自治会代表の出演は試行錯誤されて本番を迎える、自治会の団結を感じます。</p> <p>子ども大会は、参加者が少なく（もともと子どもの数が少ない）いかに人数を増して楽しい大会にして行くのか課題のようです。</p> <p>色々な場面で地域交流の輪が広がり企画、運営にも参加していただきたいと期待して居るところです。</p>

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

富 益

事業名称	富益ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	ふれあいのある安全で安心して住める地域づくりと高齢者や障がいのある方を地域で支える福祉ネットワークづくりを行う。
内 容	地域づくり 福祉ネットワーク避難先マップ作成 米子市基本検診受診広報 小中学生の通学時、町内の防犯及び痴漢対策 地域内通学路の整備及び花壇作り 多目的広場内桜植樹 魚釣り大会 そうめん流し
成果・課題等	<p>本年度も昨年度から継続した内容で地域づくりを主体に各事業に取り組んだ。</p> <p>子ども育成事業は、地域ボランティアを中心とした魚釣り大会等多くの事業を実施し、毎年多くの児童が参加している。ボランティアの方も公民館運営協議会委員を中心に、各種の団体、公民館教室、同好会の参加者また一般の方々も多くご協力をいただいた。</p> <p>防犯パトロールでは、今年度は不審者もなく、パトロールを継続している成果かもしれません、今後もより綿密な実施が必要と考えている。</p> <p>地域づくりの一環として、町民の方の親睦と憩いの場所作りを目指して、公民館多目的広場にある桜の開花時には、ライトアップをしていますが、今年度は御衣黄桜を3本植え、町内の方に家族やグループでお花見をしていただき親睦が図れたらと考えている。</p> <p>米子市基本検診の受診呼びかけは、年々成果があがってきており、今後も更に工夫を続ける必要を感じている。</p>

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

夜 見

事業名称	ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	明るい住みよい夜見町を目指して、事業推進にあたる。子どもから高齢者まで町民みんなが、人と人のつながりを大切に安全、安心で活力のある地域づくりを目指す。
内 容	<p>(1) 地域福祉対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい大演芸会による住民の交流 (地域住民、同好会によるふれあいの場所) ・夜見芸能一座「元気座」による施設訪問 (高齢者福祉に併せて地域福祉の活性化を図る) <p>(2) 地域文化の伝承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に伝わる盆踊りや方言での会話(祝言)の収録を通して高齢者の公民館活動参加につなげる。また、あわせて次世代の人に郷土の誇りを持ってもらう CD 3部を作成した <p>(3) 地域の安全防犯活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康維持の散歩を兼ねた子ども見守り隊による、児童下校時の見守り活動 ・児童・生徒の交通安全とあいさつ運動
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい大演芸会は同好会をはじめ、地域の子どもから高齢者まで幅広い年代が集い、住民の交流を図ることができたが、中学生は学校の行事と重なり参加がなかった。来年度は開催時期を考慮し、中学校の吹奏楽等にも参加を呼び掛けたい。 「元気座」は新しい演目を加え施設訪問等自主的に活動をしておられる。 ・地域に伝わる盆踊りと方言による会話をCDに収録した。特に方言(祝言)のCDは町外や学校等の問い合わせが多く、今しかできない生の音声を残すことができてよかったです。 ・子ども見守り活動は定期的に情報交換も行い、地域の安心安全を担ってもらっている。

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

大篠津

事業名称	大篠津ひとづくり・まちづくり事業
ねらい・目標	人と人とのふれあいを通して、心豊かな活力ある町づくりを推進する。
内 容	<p>1. <u>ホタルのすむ町づくり事業</u>（17年度からの継続事業）</p> <p>① ホタルが生息するための環境整備 整備・清掃作業・・・大篠津公園養殖池 御崎の森ホタルの水路</p> <p>② 観察・養殖 役員でホタル採取に出かける 産卵用成虫購入をし、採取した卵を養殖池に放流</p> <p>③ イベント 「ホタルの夕べ」 御崎神社…和琴演奏 ホタルせんべい配布 御崎の森…ホタル観賞会</p> <p>2. 防災訓練 校区民運動会にて、避難についての話と競技の1つとしての中に実際に足元が歩きにくい長靴を履き次に救急袋に水、救急食等を入れてという体験をしてもらう。</p> <p>3. 連帆揚げ（22年から継続事業） 地域の人、子どもがたくさん海岸に集まるとんど行事に合わせて、連帆あげを実施。</p> <p>4. 伝承行事の継承 門松づくり・・・10年来公民館の玄関前につくってもらっているが、次の人にへと引き継がれるように知識を伝える</p>
成課・課題等	<p>○ホタル事業…毎年ホタルの夕べでは、多くの方に関心を持っていただき、今年度も200人近くの大人も子どもも集まり、神社の境内にて琴の演奏を聴いた後、ホタルの光の乱舞を楽しみ、手に触れるところまで追いかけたり、身近に見れなくなったホタルを見せてあげることができた。しかし、その反面当初からの目標の養殖については、今年度は卵がうまく孵化せず、成虫の確認できなかつた。なかなか管理の難しさもあり、今後も継続的な課題である。</p> <p>○連帆揚げ…毎年「とんど行事」に合わせて海岸で行なっている。近年帆を揚げる環境も少なくなり、子どもたちに体験させる機会も少なく、継続して体験させたい。今年度も、多数の大人・子どもの参加があり、子どもたちは、帆の引く力に驚きながらも、力を合わせて帆揚げを行い、大人も一緒に参加して次々と楽しんだ。</p> <p>○防災訓練…今年度は、校区民運動会にて住民がたくさん集まっている中、災害時の避難についての話をし、また競技の1つとして避難訓練という形で、避難袋に水・缶入りビスケットなど普段から気を付けて準備しておく紹介や、実際に袋に水等を詰め、長靴を履いて…といった流れを競技として体験もらった。</p> <p>○門松づくり…竹林から竹を切ってくるところから始まり、1日がかりでつくりあげる大変な作業だが、見事な出来栄えに歓喜の声があり、継続していきたいと思う。</p>

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

成 実

事業名称	成実ふるさとひとづくり・まちづくり事業
ねらい・目標	<p>古き良き伝統を次世代へ継承していくため、地域住民がお互いの力と知恵を結集し、健康で心豊かな隣人愛にあふれた郷土づくりをめざしたい。</p> <p>また、近郷の史跡を探索し、地域を再発見していくことと併せて環境美化に努め、事故・災害のない明るく住みよい郷土づくりを推進したい。</p>
内 容	<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> * 成実ふるさとづくり実行委員会での活動の活性化 * 地域づくりの推進を目的とした研修会等の開催 * 地域の伝統や文化の継承を目的とした夏祭りの開催 * 住みやすく、安心で安全なまちづくりをめざしての「防火と避難訓練」の実施と意識啓発のための講習会開催 <p>主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成実地区防犯安全パトロール隊としての登下校時の子どもたちの見守り活動(防犯安全パトロール隊帽子・ジャンバーの作成) ・環境美化活動、花植え・花壇作りの実施 6月・9月他 成実クリーン大作戦の実施 7月28日 ・成実ふれあい夏祭りの開催 8月 3日 (成実音頭や米子がいな音頭の継承・東京スカイツリー音頭) ・しめ縄教室開催 12月 7日 ・防火と避難訓練講習会の開催 平成26年2月27日 【講師 米子消防署職員】 (成実自治連合会と共に事業)
成果・課題等	<p>〔成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で青少年の健全育成をめざした伝統文化継承行事、公民館諸行事等を通じ、地域と教育機関との連携が深まったと同時に地域住民と子どもたちとのふれあう機会が多くなってきたことが喜ばしい。 ・成実ふれあい夏祭りは、地域イベントの最大級の催しであり、老人から子どもまで参加し、明るく住みよく隣人愛に満ちたふるさと造りに寄与している。 <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が強まるなかではあるが、多くの子どもたちが諸行事に参加しやすくなる努力を更に続けなければならないと感じている。

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

春

日

事業名称	ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	<ul style="list-style-type: none"> 当公民館の取り組みの「核」となすものは「地域の宝」である地域の子どもの健全育成が中心をなす。公民館各専門部においても様々な事業の中で総合的に取組んでいく。 身近な地域の子ども達の安全・安心を地域ぐるみで取組み、子どもの健全育成の為に事業を展開（子どもの見守り隊の取組み強化）していく。 古来より地域に貴重な歴史、数々の豊かな文化・風俗等を次世代の子ども達に伝え、地域の大人たちと一緒になり、郷土に愛着と誇りを持つ心豊かな地域人に育成するように努める。 創意工夫で魅力ある事業を取り入れ地区民こぞって事業に積極的に参加してもらい、活力あるひとづくり・まちづくりの展開に努めていく。
内 容	<p>1. 世代間交流事業</p> <p>地域の子どもと地域の大人が一緒にになってイベントに参加し和気あいあいと交流を深めた。</p> <p>(1) こいのぼり交流グラウンドゴルフ大会</p> <p>こいのぼりを掲揚し、こいのぼりの下、子どもと大人が一緒にグラウンドゴルフをして楽しく交流した。</p> <p>(2) 「ホタルと遊ぼう」イベント</p> <p>ホタルネット春日の会員が中心になり子どもと協働で作った竹灯籠を取り付け地域住民がホタルの観賞をした。</p> <p>2. 地域安全防犯活動</p> <p>子ども見守り隊が発足し、各自治会の役員・陽寿会（老人クラブ）地域あげて子どもを見守る。</p> <p>3. 「春日の宝」再発見事業</p> <p>各自治会にある貴重な歴史・文化等々50数名の会員が調べあげ、次世代に伝えて行くよう努めた。</p> <p>4. 花と緑の推進事業</p> <p>ひとづくりの基本として保育園児と地域住民とで花の鉢植え等、花のある素晴らしい環境づくりに努めた。</p>
成果・課題等	<p>(成果) 子どもの「健全育成」を中心に様々な企画を立て沢山の皆様の協力を得て取組み一応の成果を見た。</p> <p>(課題) 少子化の波は公民館活動に影響が出てきた。</p> <p>① 様々な企画を立てるものの肝心の子どもの参加が少ない。</p> <p>② 少ない子ども達それぞれのスケジュールが一杯で調整に苦慮する。</p> <p>③ 親の協力度の低下が心配。</p> <p>子どものスケジュールと家庭を主体におき地域の子ども達の集いは後回しにする傾向にあり残念である。</p> <p>(対応) 今後はもう少し親の連絡・連携を密にするよう努める。</p> <p>① 青少年育成会・子ども会育成会の組織編制等、次年度には検討し対応に努めて行く。</p>

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

尚

徳

事業名称	尚徳地区ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	<p>尚徳地区は、古くから稲穂が実る田園地帯がひろがり地区の中央には法勝寺川と小松谷側の清流が流れ、兼久堤防には桜並木が続き四季を通じて豊かな自然環境にあふれている。</p> <p>このような自然を守り育てていくと共に、さまざまな活動を通して地域の子どもから大人までコミュニケーションを図り、ひとつひととの絆を深め健康で明るく心豊かな地域づくりの推進に努める。</p>
内 容	<p>①防災防犯安全パトロール活動 尚徳小学校児童の水曜日と金曜日の下校時に民生児童委員協議会と更生保護女性会の方々が交代で青色回転灯装備の交通安全広報車でのパトロール活動。防災用具の補充。</p> <p>②桜の里づくり 適時、下枝の伐採作業を実施</p> <p>③法勝寺川・小松谷川を美しくする会 1月14日(火)掘削工事中の法勝寺川の板橋跡の話合いを実施</p> <p>④尚徳ふるさとづくり 10月5日(土)かつて尚徳地区を走っていた法勝寺電車の廃線跡を巡り、当時をよみがえりながら次世代へと語り継ぐ。</p> <p>⑤環境美化活動 「尚徳和みのロード」春の花植えは6月21日(金)に実施し、小学校の夏休み中は、花の水やりを当番制にして実施、秋の花植えは10月30日(水)に実施した。12月20日(金)には門松づくりを実施。</p> <p>⑥ほたるの里づくり ほたる池の環境整備</p> <p>⑦運営委員会研修会 12月12日(木)(株)上代では地元の有志が集まって、廃校となつた二部小学校福岡分校で「どぶろく」の醸造をし「そば」と一緒に「上代食堂」で地域活性化をめざし活動している様子を観察</p> <p>⑧尚徳戦後史発行の資料収集は隨時</p>
成果・課題等	旧法勝寺電車廃線跡を巡り、当時の様子など次世代に残していくことは、地域を深く理解し郷土を愛し守り育てる心に繋がる。しかし、その様な地域文化を伝承する指導者が少くなり後継者の育成が課題となっている。全てにおいて、世代交代の時期が来ていると思われる。

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書 永江

事業名称	ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	住民が主体となり、地域の課題や人材の育成に取り組み、活動を通じて住民相互の交流を図り、豊かですみよい地域づくりを図る
内 容	<p>地域福祉・環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ①サポート永江研修（25年8/26 研修） ②サポート永江環境整備（4/19、6/25、7/12、10/16） ③図書部（公民館図書の整理）毎月1回 <p>青少年育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 夏休み絵画教室（7/23）、卓球教室（7/26、8/2・9） ② クリスマスツリー飾り、クリスマス会サポート（12/13、14） <p>伝承事業</p> <p>子ども万灯・ながえイエロー（運動会・ながえ祭他公民館活動参加）</p> <p>スポーツ振興</p> <p>地域活動スポーツ指導（グラウンドゴルフ・野球・ペタンク・ドッヂビー 子どもバレーボール）</p> <p>防犯防災組織整備</p> <p>わんわんパトロール（ビデオ研修8/20・ドックラン研修10/4・ 月1回下校時パトロール）</p> <p>下校時・夜間パトロール・・・定期的</p> <p>自治連合会主催支え愛の店ながえ ボランティア協力</p>
成果・課題等	<p>まちづくり推進事業とモデル地区事業とが相まって、ますますボランティアの力量が問われるところですが、サポート永江のメンバーさんの協力が大きく、各事業がスムーズに進んでいます。</p> <p>まちづくりの先進地視察においても、訪問地のボランティアの方々の行動に刺激を受け、参考になりましたし、交流も深まりました。今後の課題として、一人でも多くの賛同者を得て、一人一役で無理のない活動を行っていくことが、長続きさせることになることでしょう。</p>

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

五千石

事業名称	ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	公民館を拠点として、運営委員会や各組織との相互連携を促進し、世代間交流を図り、豊かで住みよいひとづくり・まちづくりを促進する。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災研修会（6月12日実施） 「自主防災組織の運営について」 講師 鳥取県危機管理局消防防災課 地域防災力担当係長 大塚尚生氏 自治会からの発表（諏訪1区・福市6区） ・防災訓練（12月8日実施） <ul style="list-style-type: none"> ① 講演 「身近な災害から学ぶ」 講師 防災士 難波修身氏 ② 防災訓練 災害時の応急処置 傷病者の搬送体験～搬送方法の紹介 炊き出し体験 避難体験 ・環境整備 公民館前庭に路地植え及びプランターに植栽（4月27日実施） ・同好会活性化事業 「ごせんごくいもにかい」の実施（11月30日実施） ・子ども地域活動支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 電子工作教室（7月29日実施） 陶芸教室（8月1日実施） 親子料理教室（8月7日実施） 大人と子どものスポーツ大会（8月31日実施） クリスマス料理教室（12月21日実施）
成果・課題等	<p>今年度は自治連合会と協力して防災講演会、防災訓練を開催した。実際に災害を体験した方の話を聞いたり、搬送、炊き出し、避難の体験から、これから防災に対する意識を高めていってほしい。</p> <p>環境整備では、例年どおり公民館前の植栽を行った。</p> <p>同好会活性化のための「ごせんごくいもにかい」は、講演会をする等、同好会員以外の方に参加してもらうよう昨年度と少し内容を変更したが、一般の参加者は少なかった。来年度は内容について再検討する必要を感じた。</p> <p>子ども地域活動支援事業は、昨年までも開催していた陶芸教室、親子料理教室の他に同好会の協力による電子工作教室、子ども会、PTA、グラウンドゴルフ同好会の協力による大人と子どものスポーツ大会、米子南高料理クラブの協力によるクリスマスの料理教室を開催した。参加した子どもたちはいきいきと工作、スポーツ、料理をしており貴重な体験ができたと思うが、保護者の協力を得ることは難しかった。</p>

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

巣

事業名称	ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	<p>巣公民館運営及び活動計画の基本方針である「ひとづくり・まちづくり」の方針に沿って、生涯学習の拠点としての公民館活動の推進と、地域の活性化を図り交流を深めていく。</p> <p>生涯学習の推進、ボランティア活動の促進、青少年の健全育成、伝統行事の伝承を図る。</p>
内 容	<p>1、生涯学習の推進 同好会の発表の場、ふれあいの場として「納涼大会・いわお祭り」を開催。地域住民同士交流し親睦を深める。</p> <p>2、青少年の健全育成 地区周辺の年間を通した定期的防犯パトロールを実施。非行防止と安全安心なまちづくりを目指す。</p> <p>3、伝統行事の伝承 盆踊り、わら馬作り、賽の神さん祭り等、地域住民の参加で地域伝統文化の伝承を図る。</p>
成果・課題等	<p>成果</p> <p>1、イベントを通して、地域住民の交流・親睦が図られ、ひとづくり・まちづくりにつながっていると思われる。</p> <p>2、防犯パトロールの実施により、安全安心なまちづくりの成果が見られる。</p> <p>3、伝統行事を継続開催することで、世代間をこえて親睦を図りながら伝承できた。</p> <p>課題</p> <p>1、呼びかけでの参加が多く、自主的な参加が望まれる。</p> <p>2、伝統行事の指導者の新たな人材発掘並びに育成は、今後も継続していく必要がある。</p>

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

大 高

事業名称	大高の里 ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	住民が主体となり、環境の整った明るく美しい地域社会を目指す。活動を通じてボランティアを育成し、人と人とのつながりを強める。また、地域課題の理解・解決に対しての意欲向上を図る。公民館を交流の場および人材育成の拠点とし、文化の継承や郷土愛を育むきっかけづくりとする。
内 容	<p>①尾高城址梅園管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梅園下草刈り…6月・11月 ・梅園施肥…12月 ・看板作成設置…9月 <p>②桜山の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼんぼり取付、取り外し…3月・4月 ・桜山の草刈り、雑木伐採…3月 ・看板作成設置…9月 <p>③環境美化活動・花植え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館周辺の除草…4月・7月・10月 ・花植え…7月・11月 <p>④こいのぼり飾り…4月・5月</p> <p>⑤門松づくり…12月</p>
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・桜山と梅園に手づくりの看板を設置することにより、ボランティア会員の意識向上につながった。また、一般来場者にも活動を認知していただく機会となり、施設の保全にもつながっている。 ・こいのぼり飾りは、大高の名物ともなっており、通りがかりの他地区の方からこいのぼりの寄付を受けることもある。長く続けていきたい行事である。 ・参加者が高齢化しており、活動を継続していく上では、若手の人材育成が急務である。

平成25年度 ひとづくり・まちづくり推進事業実施報告書

県

事業名称	ひとづくり・まちづくり推進事業
ねらい・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館を活動拠点として、住民主体の、活力ある豊かな住みよい地域の構築を図る。 ・世代間交流を推進し、地域の連帯意識を高める。
内 容	<p>(1) 地域の活性化 あがた夏まつり 7/21、きないや・いかいや市 12/1 地区民親睦スポーツ大会 6/2・8/25・9/29・10/13 演芸大会 11/10</p> <p>(2) 世代間交流に主点をおいた青少年育成活動 ドッジボール大会 11/9、交流ウォークラリー 5/19 しめ縄づくり 12/17</p> <p>(3) 防犯活動の推進 青少年を犯罪から守るために定期的に地区内を巡回パトロール（青パト） 小学生下校安全パトロール（見守り隊）</p> <p>*地域通貨券の発行 各イベントの際に発行し、年間を通して事業や地域内の事業所で使用できる券を発行した。一般募集した通貨券の愛称はアガタンに決定し、協力事業所（店舗）も継続募集している。</p>
成果・課題等	<p>各事業とも少しづつ定着しつつあり、参加者も徐々に多くなりつつあると実感している。大人も子供も楽しめて、事業に参加したことによかったと実感できる事業展開をしていきたい。自分自身に新しい人的交流の輪が広がるなどのメリットがあるだけでなく、自分がしたことが人のためになっているとか、喜ばれているなどの充実感も必要である。</p> <p>多様な事業を計画実施する事で、関心をもってもらい参加意識を高め、幅広い年代から多様な人材を発掘し計画的に今後も継続していきたい。</p>

事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・第44回淀江町盆踊り花火大会 ・第27回よどえ町民音楽祭 						
ねらい・目標	<p>○第44回淀江町盆踊り花火大会 町内の老若男女や郷土への帰省の人々が一同に会し、夏の一時を楽しく過ごし親睦を深めつつ、淀江の夏の風物詩として定着させるとともに、地域の連帯感の高揚とまちの活性化を図る。</p> <p>○第27回よどえ町民音楽祭 町内の音楽愛好家をはじめ、小・中学校・高等学校、公民館のサークルが一同に集まり、秋のひとときを楽しく過ごし親睦を深めるとともに、地域の連帯感の高揚とまちの活性化を図る。</p>						
内 容	<p>○第44回淀江町盆踊り花火大会（淀江海岸無料駐車場） 期日；平成25年8月15日（木）19:00～21:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傘踊り（淀江保育園） ・“ザ！さんご” de ダンス（淀江小学校） ・開会セレモニー <table> <tr> <td>《盆踊り》</td> <td>《花火》</td> </tr> <tr> <td>・淀江音頭</td> <td>・1,500発</td> </tr> <tr> <td>・淀江さんご</td> <td></td> </tr> </table> <p>○第27回よどえ町民音楽祭 さなめホール 期日；平成25年9月8日（日）13:30～16:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演：10団体 ・特別ゲスト：吉田章一氏（声楽；バリトン） ・全体合唱：伸びゆく淀江・ふるさと 	《盆踊り》	《花火》	・淀江音頭	・1,500発	・淀江さんご	
《盆踊り》	《花火》						
・淀江音頭	・1,500発						
・淀江さんご							
成果・課題等	<p>○第44回淀江町盆踊り花火大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会、経験者、文化部その他多くの協力者を得取り組むことが出来た。観客も年々増加。この大会に寄せる思いを感じた。 ・地域づくりの観点から様々な面で連携・PRを行い、淀江校区全体の大重要な事業として地域の方々が参加し易いよう心がけた。 ・「盆踊り、花火をより盛大に」を合言葉に取り組んだ。 ・今大会の反省をもとに大会のあり方、内容について検討。 <p>○第27回よどえ町民音楽祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新たにハンドベルのチーム＝シェリーハンドベルクワイアが参加し、キャリアを重ねられてきた常連の出演の皆さんと共に、それぞれが趣きのある素晴らしい演奏を繰り広げる事ができた。 また、特別ゲストの吉田章一さんは、2003年から8年間淀江小学校に勤務されていた経緯もあり、元教え子の生徒さん達をはじめ客席の皆さんにより大きな感動を与えて頂いた。何度も盛大な拍手が会場一杯に湧起り、より一層音楽祭が盛り上った。地域に親しみのあるゲストも今後検討ていきたい。 ・新規参加の拡大とバリエーション豊かな内容の充実、町民音楽祭に相応しいプログラムや特別ゲスト選び等、引き続き課題である。 						